

院内がん登録 2010年10年生存率集計

がん診療連携拠点病院等/小児がん拠点/都道府県推薦病院

令和5(2023)年3月
国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策研究所 がん登録センター

院内がん登録 2010 年 10 年生存率集計の公表について

国立がん研究センターでは、がん対策研究所（旧称：がん対策情報センター）・がん登録センターを中心に、これまで全国がん登録及び院内がん登録の標準化や体制整備に努めて参りました。院内がん登録は、2007 年診断症例から全国のがん診療連携拠点病院のデータを収集し、院内がん登録全国集計として我が国のがん診療の実態を把握する資料となるよう、毎年、全国集計報告書を公表しています。院内がん情報をもととした生存率集計としては 10 年生存率、5 年生存率、そして科学的根拠に基づく情報をより迅速に提供するためにより早い段階での生存率として、3 年生存率を公表して参りました。

本報告書では、長期予後の報告書として、全国 417 施設から 2010 年診断例の 10 年予後情報付院内がん情報を提供していただき、生存状況把握割合が 90%以上であった 316 施設のデータを用いて集計しました。また、今回から、がん以外による死亡の影響を除外するための集計方法として、以前の相対生存率に変え、国際標準となっているネット・サバイバルを採用しました。数値の上では以前のデータとの比較が容易ではなくなりますが、ネット・サバイバルの方が優れた集計方法として定着していることを受けたもので、今後の集計の基礎となると考えられます。

2010 年診断症例は、2007～2009 年診断症例と同様に、院内がん登録が開始されてから間もない時期であるため、データの精度に関しては一定の限界があり、全国のがん診療連携拠点病院等を代表する数値としては捉えることはできない点にご留意ください。本集計報告書をご活用いただけますと幸いです。

令和 5 年 3 月

国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長

中釜 斉

生存率について

がん医療を評価する重要な一つの指標として、生存率がある。伝統的に、診断後あるいは治療後 5 年経過した時の生存率が治癒の目安とされており、がん(部位)によっては 10 年生存率が治癒の目安とされることもある。この報告書では、がん診療連携拠点病院 2010 年全国集計の結果を踏まえて、2010 年に診断された例の 10 年生存率を集計した。

信頼性の高い生存率を算定するためには、患者の生存確認を行うことが重要であるため、自施設への来院情報だけにたよらずに、患者の生存状況を把握する生存確認調査(いわゆる予後調査)が必須となる。この生存状況の把握が不十分な場合には真の値よりも高い生存率となることが知られている。また、生存率は生存状況把握割合以外にも生存率を算出した対象集団の基礎疾患の頻度や年齢分布などの偏りなどによっても大きな影響が出る。このように生存率の結果の解釈には様々な要因が影響することに留意する必要がある。

1) 生存状況把握割合の意味

生存率の算出において、先行研究における試算では、生存状況把握割合によって院内のデータのみを使って計算した場合、5 年相対生存率が真の値よりも 10~15% 高く推定されてしまうことがあるとの報告がある。そのため、我が国で先行して施設別生存率の公表をしてきた全国がんセンター協議会の集計方法¹⁾を踏まえて、生存状況把握割合が 90%以上であることを基準として、この基準を全がんにおいて達成した施設のデータのみを集計の対象とした。この生存状況把握割合は国際的には 95%以上が望ましいとされており、わが国の院内がん登録でもより高い把握割合をめざすべきであると考えられる。

2) 生存率の種類

生存率には、その算出の仕方によって大きく「実測生存率」、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」に分けられる。

「実測生存率」は、死因に関係なく、全ての死亡を計算に含めた生存率で、診断例に対する～年後の生存患者の割合で示される。計算方法は複数存在するが、Kaplan-Meier 法が頻用され、医療機関の公表する生存率は Kaplan-Meier 法による実測生存率であることが多い。本報告においても、実測生存率については Kaplan-Meier 法を用いて計算している。

一方で、がんによる生存への影響を把握したいときには、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」が用いられる。「疾病特異的生存率」は、実測生存率で計算される対象にはがん以外の死因による死亡も死亡の中に含まれるため、がん以外の死因による死亡を、「打ち切り」として計算している。この疾病特異的生存率を正確に推定するためには、がんが死因でないかどうかを判定できなければならない、そのために原死因を用いて判定するか、それ以外の死因も含めて判定するかで結果が変わってくる。現在の日本の現状において、この死因の把握はかなり困難である。

これに対し、「相対生存率」は、実測生存率を対象と同性・年齢、診断年(歴年)の一般の日本人集団で「がんではなかった場合の生存率」という考えによる期待生存率を算出し、それで、実際の生存率を割って算出する方法である。疾患特異的生存率のように個々の死因を把握する必要がないため、国際的によく用いられている。

この期待生存率の算出方法の違いから、Ederer I 法、Ederer II 法、Hakulinen 法などがこれまでに開発されてきた。

3) ネット・サバイバル(Net Survival)について

相対生存率は一般的な方法の 1 つではあるが、生存率の高いがん種において理論上 100%以上になることが生じるなど課題も多い。そこで、期待生存率を算出することなく純粋に「がんのみが死因となる状況」を仮定して計算する純生存率(Net Survival、Pohar-Perme 法)が開発された。この方法は国際的にも広く採用されている方法であり、本報告書においても相対生存率に代わり今回からこの方法によるネット・サバイバルを採用している。

4) 生存率をどう解釈するか

本集計による生存率は、既存の地域がん登録や全国がんセンター協議会の集計結果に比べても、より広汎な集計データといえるが、それでも拠点病院と一部の都道府県推薦病院に限ってのデータであることに留意する必要がある。なお、本報告書では、生存率に影響を与えることが想定される情報で、かつ院内がん登録としてデータ収集されている情報として、①性、②年齢、③病期(がんの進行状況)、④観血的治療の有無(手術されたか、されなかったか)などを参考資料として併記して示している。

1) 全がん協調査などでは、消息判明率と呼ばれてきたが、本報告書ではこの呼び方で表記する。

参考資料

- がん登録実務者のためのマニュアル 生存率解析 味木和喜子
2001 年 9 月、大阪府立成人病センター調査部
がん専門施設における生存率計測の標準化 木下洋子他、
癌の臨床 第 46 巻第 10 号、2000 年 9 月、篠原出版新社

目次

院内がん登録 2010 年 10 年生存率集計の公表について	2
生存率について	3
I 2010 年 10 年生存率集計 調査方法	5
1. 収集の対象と方法	5
(1) 収集の対象	5
(2) 収集方法	5
(3) 収集項目と定義	5
2. 集計の対象と集計方法	6
(1) 集計の対象	6
(2) 集計の手順	6
(3) 集計項目の定義	7
(4) 集計方法	8
(5) 公表の対象	8
II 2010 年 10 年生存率集計 結果概要	13
1. 調査参加施設と登録数	13
2. 集計対象	13
3. 生存率集計対象者	13
III 2010 年 10 年生存率集計 結果詳細(全体) :悪性新生物<腫瘍>	24
1. 全がん	24
2. 胃がん(胃癌)	27
3. 大腸がん(大腸癌)・結腸がん(結腸癌)・直腸がん(直腸癌)	29
4. 肝細胞がん(肝細胞癌)・肝内胆管がん(肝内胆管癌)	35
5. 小細胞肺がん(小細胞肺癌)・非小細胞肺がん(非小細胞肺癌)	39
6. 女性乳がん(女性乳癌)	43
7. 食道がん(食道癌)	44
8. 膵臓がん(膵臓癌)	46
9. 子宮頸がん(子宮頸癌)	48
10. 子宮体がん(子宮体癌)	49
11. 前立腺がん(前立腺癌)	50
12. 膀胱がん(膀胱癌)	51
13. 喉頭がん(喉頭癌)	53
14. 胆嚢がん(胆嚢癌)	55
15. 腎がん(腎癌)	57
16. 腎盂尿管がん(腎盂尿管癌)	59
17. 甲状腺がん(甲状腺癌)	61
18. 女性卵巣がん(女性卵巣癌)	66
付表(2010 年 10 年生存率集計)	68
1. 集計対象施設一覧	

I 2010 年 10 年生存率集計 調査方法

1. 収集の対象と方法

(1) 収集の対象

本集計では、2022 年 4 月 1 日時点のがん診療連携拠点病院等 453 施設、成人の拠点病院に指定されていない小児がん拠点病院 6 施設と 2010 年診断例、2015 年診断例について院内がん登録全国集計(0 年集計)にデータ提出した都道府県推薦病院 300 施設、及び当時の全国集計時のがん診療連携拠点病院 16 施設、合計 775 施設に調査を依頼した。データ収集に当たっては、院内がん登録 2010 年診断例の通年データを持ち、死亡日、最終生存確認日、生存期間等の生存状況情報を含めたデータ提出が可能と考えられる上記の調査依頼施設に、「予後情報付集計」の名称で、2010 年 10 年予後情報付登録情報の提供を依頼した。調査対象例は、2010 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間に、自施設で診断または他施設で既に診断されて自施設に初診した、全悪性新生物(がん)及び頭蓋内の良性及び良悪性不詳の腫瘍の登録患者*である。これら対象例の 10 年予後情報付の登録情報(以下「予後情報付腫瘍データ」という。)の提供を各施設に依頼した。なお、各施設における登録対象患者は、下記の通りである。

* 各施設における登録患者について

各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断された初診患者であり、初発例、再発例を含む。また、治療を行わない経過観察例も含まれる。セカンドオピニオンのみを目的とした初診に関しては登録対象とするかどうかは各施設の判断に任されている。1 腫瘍 1 登録の原則に基づき、同一患者に別のがん種と判断されるがんが同時または時間をあけて(異時性に)生じた場合には、多重がんとして登録される。なお、多重がんの判断は各施設に任されている。登録済みの同じがんについて当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではないが、同じ患者が同じがんで複数の病院を受診した場合は、異なる施設において同じ患者の同じがんが登録されている可能性がある。(本全国集計では提供されたデータは匿名化後のデータであるため、重複の整理は行わない。)

(2) 収集方法

2022 年 6 月 10 日に、対象施設に、「院内がん登録予後情報付集計 手順書」を送付し、手順書に従って作成されたデータの提供を依頼した。データは、エラーチェックのための品質管理ツールを用いインターネット(ネットワーク型)を通しての提出を依頼した。データ収集期間は、2022 年 7 月 5 日から 8 月 6 日までとした。

提出においては、「がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式登録項目とその定義 2006 年度版修正版」において定義された標準項目(以下「標準項目」と略す。)を満たす腫瘍データを収集した。項目の品質管理(定義通りの項目・区分で登録されているか、関連

する項目間の登録内容に矛盾はないか等)については、ネットワーク型ではデータの收受の段階で品質管理を実施し、論理矛盾がない状態でのデータ提供への協力を依頼した。なお、健総発第 0907001 号「がん診療連携拠点病院で実施する院内がん登録における必須項目の標準登録様式に係る改正等」において定義された必須項目のみでのデータ提供についてはデータ精度管理上の問題から集計対象としなかった。

(3) 収集項目と定義

収集項目は、前述の診断から 10 年後の生存状況の情報を含む標準項目である。また、予後情報付腫瘍データの提出にあたり、下記の計算式に従って、追跡期間(日数)を計算し入力するよう依頼した。

* 追跡期間(日数)の計算方法

追跡期間(日数)とは、起算日から生存最終確認日もしくは死亡日までの日数とする。起算日は、後述する集計用診断日決定のルールに従って決定する。追跡終了日とは、予後調査結果が死亡であり死亡日があれば死亡日、生存の場合は生存最終確認日とする。

$$\text{追跡期間(日)} = \text{追跡終了日} - \text{起算日} + 1$$

本集計に関連する項目について以下に記述する。その他の標準項目の定義は、2010 年全国集計報告書を参照いただきたい。

i. 診断区分

診断区分は、わが国の地域がん登録との整合性を図るために用いられている分類で、「1:初発(治療開始前)」、「2:治療開始後」に分けられる。この項目は当該腫瘍について自施設に受診する前に他施設において既に治療が開始されていたか否かを区別するもので、この項目が「1:初発(治療開始前)」であったケースでは、自施設で行われた治療は初回治療とみなす。本来であれば、一連の治療方針の下で施設を問わずに初回治療とされるべきであるが、わが国の現状では、施設が異なると、一連の治療であるかないかが判明しないことが多く、そのため、他施設での治療の情報は、初回治療であっても「初回治療なし」とするルールを定めている。

ii. 症例区分

症例区分は生存率の算定等で対象となる患者範囲を決定する重要な区分である。院内がん登録の機能の一つには、各施設の対がん医療活動の評価のための基礎資料を提供することにある。他施設と比較し自施設のがん診療実態を把握するためには、がん対象例を正しく識別する必要がある。この項目では、初回診断(登録施設での診断の有無)と初回治療(登録施設における初回治療の有無)の組み合わせにより患者を分類するための区分を登録している。本集計では、原則として

「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を分析対象とする。また、施設によっては前述の診断区分のみを入力している施設もあり、本集計では診断区分の組み合わせから症例区分を算出する対応表を用いて集計を行った。

iii. 臨床病期

治療前ステージ

UICC(Union for International Cancer Control)の定める病期の分類方法に基づき、何らかの治療が行われる以前につけられたステージを指す。わが国の一般的な臨床現場で使用される癌取扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。胃、乳房、肝臓、大腸、肺についてのみ、標準項目とされているが、他のがんについては任意の登録となっている。肝臓については、取扱い規約のステージも標準項目として登録することになっている。

前医で治療がなされており治療前のステージが不明の場合などは「不明」に分類されるか、空白のままに登録される。わが国の診療情報に関わる施設間の情報交換に関する懸念からこのような方針をとっている。

術後病理学的ステージ

手術が行われた患者に対して、術後に検体が提出され病理学的に算出されたステージを登録する。手術が行われなかった場合には空欄で、術前に化学療法や放射線療法、免疫・内分泌療法などが行われた場合には、手術前の治療の影響が予想されるため、術後病理学的ステージは適応外として登録される。定義上は、原発巣に対する切除術が行われ、断片が陰性であるような治癒的な切除が行われた場合に本ステージが評価できるとされている。術後病理学的ステージは、腫瘍やリンパ節を顕微鏡的に観察して得られるステージであることから、治療前ステージと比較して、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているといえる。

なお、2010年登録対象はUICC TNM 第6版準拠で登録されている。

iv. 治療の有無

院内がん登録において登録される治療は、登録対象となったがんに対する初回治療である。初回治療とは治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従って後に追加された治療などは含まれない。当初経過観察が計画されていたが、病状が悪化したために治療が行われた場合なども「初回治療なし」となる。また、症状緩和的な目的で行われた手術や放射線治療は、部分的に腫瘍に対する治療であるといえることから登録対象に対する治療の一環に考えるが、腫瘍に影響のない、鎮痛剤や制吐剤などの治療は、「治療あり」としない。

現時点の院内がん登録では、「i 診断区分」で既に述べたとおり、登録施設で行われた治療のみを「初回治療あり」としている。

① 手術・体腔鏡的治療

手術とは一般に外科的治療を指し、体腔鏡とは麻酔下に行われる腹腔鏡、胸腔鏡などの手術を指す。これらには、消化管や気管支内視鏡による治療を含めない。

② 内視鏡治療

上記で除外された、消化管、気管支内視鏡などによる治療を指す。

③ 放射線治療

原発巣に対する放射線治療だけではなく転移巣に対する放射線治療も含まれる。小線源療法も放射線治療として登録される。

④ 化学療法、免疫療法・BRM、内分泌療法

症状緩和のための薬物療法(鎮痛剤、制吐剤)などは含まない。また、通常の静注・経口化学療法だけではなく、肝動脈化学塞栓療法(TACE)に含まれる化学療法や動注療法も化学療法に分類される。内分泌療法には前立腺癌における除睾術等も含まれる。

⑤ 外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果

当該のがんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度を登録する。ここでは、初回治療として行った総合的な結果を記載する。つまり、最初内視鏡的な治療を行ったが、その後外科的な追加切除が行われた場合は、外科的切除の根治度を登録する。

2. 集計の対象と集計方法

(1) 集計の対象

生存率集計における集計対象は、2010年に診断された例で次のiからiiiを満たす例を集計対象とした。

i. 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を集計対象とした。

ii. 悪性新生物<腫瘍>(一部良性の脳腫瘍)

本集計では、原則として新生物<腫瘍>の性状コード3の「悪性、原発部位(悪性新生物<腫瘍>)」の例を集計対象とした。但し、脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患については、良性、良性又は悪性の別不詳の例を含めて集計対象とした。

iii. 年齢

診断時の年齢が0から99歳までの例を集計対象とした。

(2) 集計の手順

①集計対象例の選定

提出されたデータから上記のiからiiiに該当する例を抽出した。

i 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

集計対象施設から提供されたデータを、表1-1 集計用診断日の決定のルール、及び表1-2 集計用症例区

分の決定のルールに基づいて、「項目:集計用診断日」、「項目:集計用症例区分」を作成した。その後、集計用症例区分が2, 3であった例を集計対象とした。

ii 悪性新生物<腫瘍>(一部良性の脳腫瘍)

原則として、「項目:330 組織診断名コード」の新生物<腫瘍>の性状を表す第5桁コードが「3:悪性、原発部位」であった例を集計対象とした。但し、一部の脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患、ICD-O-3 の局在コードが「C70.0, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3」の場合は、「0:良性」又は「1:良性又は悪性の別不詳」であった場合も集計対象に含めた。

iii 年齢

年齢は、生年月と集計用診断年月を用いて、院内がん登録全国集計と同様に下記の定義で求めた。

診断年月の月 >= 生年月日の月

⇒ 診断年月の年-生年

診断年月の月 < 生年月日の月

⇒ 診断年月の年-生年-1

上記で求めた年齢が0~99歳までの例を集計対象とした。

上記で選定した例から、下記の㉞~㉟に該当する場合は集計対象から除外した。

㉞ 性別不詳の場合

半陰陽や性同一性障害による戸籍性別の変更等のため、性別で特有の臓器に発生した腫瘍と戸籍上の性別が矛盾していないかを確認した上で、性別が不詳(項目:性別が9)であった者を除外した。性別で特有の臓器に発生した腫瘍について矛盾があった場合は、臓器に基づいて性別を修正した上で集計した(例:前立腺と登録があった場合に性別が女性として登録されていたら、男性として集計)。

㉟ 追跡終了日の年月が不明の場合

追跡終了日は、「項目 660: 予後調査結果」が死亡であった場合は死亡日、生存であった場合は最終生存確認日となる。ただし、死亡例であっても死亡日の年または月が不明の場合は、打ち切り扱いとし、生存最終確認日を追跡終了日とした。追跡終了日の年あるいは月が不明であった場合は、集計対象から除外した。

㊱ UICC TNM 分類総合ステージが0期の場合

病期は、患者の予後を予測する上で重要である。院内がん登録では、UICC TNM 分類に基づく治療の選択と評価に不可欠である臨床分類(治療前ステージ)と、術後アジュバント療法の指針となり、予後推定や遠隔成績の計算のための追加情報を提供する術後病理学的分類ステージについて情報を収集している。本集計では、腫瘍切除例(外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果が、1:治癒切除、2:非治癒切除、3:治癒/非治癒の別不詳)については腫瘍の縮小を目的とした化学療法

や放射線療法あるいは免疫・内分泌療法などを施行後の腫瘍切除例(術後病理学的ステージ適応外例)及び術後病理学的ステージが不詳であった例を除き、UICC TNM 分類術後病理学的ステージをより患者の治療前の病期を表すとして UICC TNM 分類総合ステージとして用いた。腫瘍切除例以外は UICC TNM 分類治療前ステージを UICC TNM 分類総合ステージとして用いた。なお、本集計では総合ステージが0期であった場合は、集計対象から除外した。

㊲ 追跡期間(日数)の確認

追跡期間(日数)は正確な生存率を算出するために必須の項目である。2010年診断例については、品質管理において、登録された追跡期間の確認を行っている。

㊳ 集計対象施設の選定

生存率の推定値は、生存状況把握割合に影響を受ける。10年生存率を計算する場合には、対象者全員の10年後の生存状況を把握することが必要となる。これまで、全国がんセンター協議会は、加盟施設の生存率を公表してきた。その中で、がんの生存率は生存状況把握割合を100%に近づけるほど、真の値に近づくことされ、概ね95%以上の生存状況把握割合を維持する必要があるとされている。しかしながら、現在の院内がん登録における生存確認調査の実施においては、障害も多く、調査を実施しても生存状況が確認できず、生存状況把握割合が低い施設も存在する。また全国がんセンター協議会の生存率公表においても、改善が要するとされつつも生存状況把握割合が90%を超えた場合に施設の生存率が公表されてきた。これらの経緯を踏まえ、本集計では前述の集計対象例の生存状況把握割合が90%以上の施設を集計対象とした。具体的には、予後調査結果が生存であるが追跡期間(日数)が10年未満の打ち切り例が施設の生存率集計対象例の10%未満である施設を集計対象施設とした。

生存状況把握割合 = (1 - 打ち切り例数 / 集計対象例数) × 100

(3) 集計項目の定義

● 部位区分

表 1-3 部位分類コード対応に基づき、作成した。

● 臨床病期

UICC TNM 分類総合ステージ

2010年診断例では、UICC TNM 分類第7版に準拠して UICC TNM 分類の治療前及び術後病理学的ステージが登録されている。

本集計では、がん患者の予後に影響するステージとして、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表している術後病理学的ステージがある場合(適応外、不詳、空欄を除く)は術後病理学的ステージを、無い場合は治療前ステージを用いて、UICC TNM 分類総合ステージとして集計に用いた。なお、本集計では、各施設で登録されたステージの値を用いて集計をしており、登録さ

れている TNM 情報からみてステージが UICC TNM 分類のステージと一致しない場合であってもデータに修正は加えていない。

局在コードは、原則として別途定める部位分類コードに基づく。肺は C34、肝細胞癌は C22.0、肝内胆管は C22.1 を対象とした。甲状腺乳頭濾胞癌、喉頭癌、胆嚢癌、腎癌、腎盂尿管癌は、院内がん登録 2017 年全国集計の分類に準じて、卵巣癌は、2012-2013 年 5 年生存率集計時の分類に準じて集計した。

また、各生存率の集計対象は、表 1-4 の部位・組織形態コードとする。

● 観血的治療

当該がんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度について、「項目 520:外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果」に登録することとなっている。登録の際には、「1:原発巣-治癒切除」、「2:原発巣-非治癒切除」、「3:原発巣-治癒/非治癒の別不詳」、「4:姑息/対象治療、転移巣切除」、「8:その他」、「9:不詳」の中から一つを選択する。本集計では、観血的治療の有無、外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度別に生存率を集計した。

(4) 集計方法

前述のとおり選定された集計対象例・集計対象施設において、10年後の生存状況変数を作成し生存率を推定した。追跡期間(日数)が 10 年未満でかつ予後調査結果が死亡であった場合は、10 年後の生存状況＝死亡(1)とした。

生存率は、Kaplan-Meier 法を用いた実測生存率と国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター

において作成されコホート生存率表(2016年版)を用い、ネット・サバイバルを推定した。なお、本報告書では StataMP 16.0 (Stata Corporation, College Station, TX, USA)を用い、stnsを用いてネット・サバイバルを推定している。

がんごとの集計では、集計対象定義に基づいて集計を行った。なお、上皮内がん(総合ステージ 0 期)については生存状況把握割合の算出の際には対象に含めていない。

(5) 公表の対象

令和 4 年度第 1 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会での検討に基づき、以下の公表基準に沿って、生存率を公表する。

生存率の推定値は、対象例数、死亡者数等の件数に依存する。一般に対象例数が 30 例未満の場合、推定された生存率の信頼性が低くなるため、本集計では対象例数が 30 例未満の場合は、10 年生存率を公表しないこととする。なお、各集計表において、集計値が 10 未満の場合、個人が特定される可能性が高いことから、厚生労働省平成 28 年 8 月 4 日第 8 回がん診療提供体制のあり方に関する検討会での検討に従い 1-3 件、4-6 件、7-9 件といった形で公表する。

なお、都道府県別生存率については、当該都道府県で集計対象が 1 施設となる場合は表示していない。

参考資料

- 1)全国がんセンター協議会. 全がん協加盟施設におけるがん患者生存率公表にあたっての指針(案) 2004/11/25版 厚生労働省がん研究助成金「地域がん専門診療施設におけるソフト面の整備拡充に関する研究」班

表1-1 集計用診断日決定のルール

集計用症例区分	集計用診断日	備考
1:診断のみ	診断日2	
2:自施設診断自施設治療	診断日2	
3:他施設診断自施設治療	当該腫瘍初診日	
4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例	当該腫瘍初診日	*
5:剖検	診断日2	死亡日
8:その他	診断日2、当該腫瘍初診日のいずれか	*

* 優先する集計用診断日となる日付が登録されていない場合、診断日2、当該腫瘍初診日、診断日1、入院日の中で、2009年の日付の項目を用いて作成した。

表1-2 集計用症例区分の決定のルール

診断区分	診断施設	治療方針	集計用症例区分
1:初発	1:自施設診断	1:自施設で治療	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	3:自施設で経過観察	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	4:他施設へ紹介	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	8:来院中断	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	9:その他	1:診断のみ
1:初発	2:他施設診断	1:自施設で治療	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
1:初発	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
1:初発	2:他施設診断	9:その他	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	1:自施設で治療	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	9:その他	8:その他

症例区分が登録されているケースでは症例区分を優先、症例区分が登録されていない例では、診断区分・診断施設・治療方針から上記のルールで変換した集計用症例区分を用いて集計用症例区分を作成した。

表 1-3 部位分類コード対応

部位名	第 1 段階 ICD-O-3 形態コード	第 2 段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・口唇		C00、C02.0-02.3、C02.8-0.29、C03.0-C05.0、C05.8-C06.9
大唾液腺		C07、C08
上咽頭		C11
中咽頭		C01、C02.4、C05.1-05.2、C09、C10.0、C10.2-10.9、C14
下咽頭		C12-C13
食道		C15
胃		C16
小腸		C17
結腸		C18
直腸		C19-C20
大腸		C18-C20
肛門/肛門管		C21
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		C10.1、C32
肺		C33-C34
骨・骨軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚(黒色腫を含む)		C44
乳房		C50
膣・外陰		C51、C52
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
子宮		C55
卵巣		C56
前立腺		C61
精巣		C62、C63.0、C63.1
腎		C64
膀胱		C67
腎盂・尿管		C65、C66、C68
脳・中枢神経系		C70、C71、C72、C751-C753
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959-972 974-975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980-994	
他の造血器腫瘍	995-998 999	C421
その他		第 1 段階、第 2 段階で変換された以外の症例

表 1-4 病期分類対象コード：各部位に発生した主に上皮性のがんが対象

	局在	組織形態
胃癌	C160, 161-166, 168, 169	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
大腸癌	C180, 182-189, 199, 209	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
肝細胞癌	C220	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
肝内胆管癌	C221	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
肺小細胞癌	C340-343, 348, 349	8041-8045
肺非小細胞癌		8000-8157 (8013, 8041-8045 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8972, 8980
乳癌 (女)	C500-509	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
食道癌	C150-152, 158, 159	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
膵臓癌	C250-252, 259	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
前立腺癌	C619	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
子宮頸癌 (女)	C530-531, 538, 539	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
子宮体癌 (女)	C540-543, 548, 549	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
膀胱癌	C670-679	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
甲状腺乳頭・濾胞癌	C739	8050, 8230, 8260, 8290, 8330-8332, 8335, 8337, 8340-8344, 8350
甲状腺未分化癌	C739	8020, 8021
甲状腺髄様癌	C739	8345
胆嚢癌	C23.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
喉頭癌	C32.0, 32.1, 32.2, 10.1	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎癌	C64.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎盂尿管癌	C65.9, 66.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941

	局在	組織形態
卵巢 (女)	C56.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8600-8670, 8930-8935, 8940-8941, 8950-8973, 8980, 8982-8983, 8990-8991, 9000-9015, 9020, 9040-9044, 9060-9090, 9100-9105, 9110

II 2010年10年生生存率集計 結果概要

1. 調査参加施設と登録数

調査を依頼した775施設のうち、417施設(このうちがん診療連携拠点病院等は359施設)から10年予後情報付腫瘍データが提供された(協力率53.8%)。なお、表2-1-1に全登録数と集計対象を示す。

2. 集計対象

(1) 集計の対象

① 集計対象例の選定

i 自施設診断自施設初回治療及び他施設診断自施設初回治療

提出されたデータ全体で、「自施設診断・自施設初回治療(症例区分2)」が351,491例(62.0%)、「他施設診断・自施設初回治療(症例区分3)」が112,342例(19.8%)であり、全登録数の81.8%を占めた。

ii 悪性新生物<腫瘍>

症例区分2,3(自施設診断・自施設初回治療又は他施設診断・自施設初回治療)のうち悪性新生物<腫瘍>(新生物<腫瘍>の性状コードが3)は、411,581例(72.6%)であった。脳腫瘍の良性又は良性・悪性の別不詳を合わせると集計対象腫瘍例は、419,439例(74.0%)であった。

iii 年齢

診断時の年齢を見ると、100歳以上が109例あり、生存率集計からは除外した。年齢別にみると、70歳代が23.5%と最も多く、次いで60歳代が21.2%であった。

上記で選定した例から、性別不詳及び追跡終了日不明またはUICC TNM分類総合ステージ0期の合計76例を集計対象から除外した。

② 追跡期間(日数)の確認

予後情報付データ収集では、品質管理において追跡期間の確認を行った。なお、追跡終了日(死亡例の場合は、死亡日の年月、生存例の場合は、生存最終確認日の年月)が不明の場合は集計対象から除外した。但し、死亡例で死亡日の年月が不明であっても、生存最終確認日の年月が判明している場合は、生存最終確認日を追跡終了日とし、打ち切り例として集計した。

(2) 生存状況把握割合

各施設における集計対象例に対する生存状況把握割合について検討した結果、最も低かった施設の生存状況把握割合は、32.6%で、最も高かった施設は100.0%であった。以降の集計結果では、生存状況把握割合が90%以上であった316施設(がん診療連携拠点病院292施設、都道府県推薦病院23施設、任意参加病院1施設)における登録例を集計対象とした。

3. 生存率集計対象者

全がんで生存状況把握割合が90%以上であった316施設において集計対象例は、341,335例であった。

表 2-1-1 2010 年診断例調査参加施設の全登録数と集計対象

	集計対象外施設		集計対象施設		全体	
	101 施設	(%)	316 施設	(%)	417 施設	(%)
全登録数	106,787	100.0	460,265	100.0	567,052	100.0
症例区分別登録数						
1. 診断のみ	6,364	6.0	22,638	4.9	29,002	5.1
2. 自施設診断・自施設初回治療	67,264	63.0	284,227	61.8	351,491	62.0
3. 他施設診断・自施設初回治療	19,198	18.0	93,144	20.2	112,342	19.8
4. 初回治療開始後・再発	10,534	9.9	44,191	9.6	54,725	9.7
5. 剖検	32	0.0	240	0.1	272	0.0
6. 不明・その他	3,395	3.2	15,825	3.4	19,220	3.4
症例区分(2, 3)(再掲)	86,462	81.0	377,371	82.0	463,833	81.8
症例区分 2, 3のうち		0.0		0.0		0.0
良性	1,416	1.3	5,221	1.1	6,637	1.2
良性又は悪性の別不詳	264	0.2	971	0.2	1,235	0.2
上皮内癌	8,494	8.0	35,886	7.8	44,380	7.8
悪性新生物<腫瘍>	76,288	71.4	335,293	72.8	411,581	72.6
集計対象腫瘍*	77,965	73.0	341,474	74.2	419,439	74.0
症例区分 2, 3、集計対象腫瘍のうち(年齢不詳除く)						
年齢 0~14 歳	234	0.2	1,294	0.3	1,528	0.3
15~39 歳	2,586	2.4	11,725	2.5	14,311	2.5
40 歳代	4,610	4.3	20,515	4.5	25,125	4.4
50 歳代	10,102	9.5	45,391	9.9	55,493	9.8
60 歳代	22,250	20.8	97,729	21.2	119,979	21.2
70 歳代	24,955	23.4	108,025	23.5	132,980	23.5
80-99 歳	13,209	12.4	56,705	12.3	69,914	12.3
100 歳以上	19	0.0	90	0.0	109	0.0
0~99 歳(再掲)	77,946	73.0	341,384	74.2	419,330	73.9
除外対象(以下重複有)						
性別不詳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
追跡終了日不明	(1-3)	0.0	10	0.0	13	0.0
総合ステージ 0 期	24	0.0	39	0.0	63	0.0
集計対象例	77,919	73.0	341,335	74.2	419,254	73.9

*症例区分 2, 3のうち、悪性新生物<腫瘍>、脳・中枢神経系に発生した良性または良性・悪性の別不詳の腫瘍を含む

表 2-2-1 がん診療連携拠点病院等調査参加施設の全登録数及び症例区分 2,3 の登録数

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治 療(症例 区分2,3) 登録割合	
総数			292	528,201	324,924	106,688	81.7
北海道	独立行政法人 国立病院機構 北海道がんセンター	集計対象	2,195	982	585	71.4	
北海道	JA 北海道厚生連 旭川厚生病院	集計対象	1,435	966	245	84.4	
北海道	王子総合病院	集計対象	910	710	92	88.1	
北海道	市立釧路総合病院		918	686	107	86.4	
北海道	JA 北海道厚生連 帯広厚生病院	集計対象	1,375	1,045	200	90.5	
北海道	北見赤十字病院	集計対象	1,317	723	251	74.0	
北海道	市立函館病院		1,218	829	160	81.2	
北海道	日鋼記念病院		623	344	58	64.5	
北海道	函館厚生院 函館五稜郭病院	集計対象	1,476	1,137	219	91.9	
北海道	札幌医科大学附属病院		2,042	964	492	71.3	
北海道	JA 北海道厚生連 札幌厚生病院		1,468	1,006	234	84.5	
北海道	手稲溪仁会病院		1,775	1,141	290	80.6	
北海道	旭川医科大学病院		1,467	718	458	80.2	
北海道	市立旭川病院		883	670	110	88.3	
北海道	独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院		663	543	100	97.0	
青森	青森県立中央病院		1,784	1,038	410	81.2	
青森	八戸市立市民病院	集計対象	1,036	807	189	96.1	
岩手	岩手県立中央病院	集計対象	1,833	1,356	304	90.6	
岩手	県立二戸病院	集計対象	425	269	63	78.1	
岩手	岩手医科大学附属病院	集計対象	2,617	1,154	902	78.6	
岩手	岩手県立中部病院		1,039	648	233	84.8	
岩手	岩手県立磐井病院	集計対象	606	357	141	82.2	
岩手	岩手県立宮古病院	集計対象	405	243	66	76.3	
岩手	岩手県立胆沢病院	集計対象	712	547	111	92.4	
岩手	岩手県立大船渡病院	集計対象	587	417	52	79.9	
岩手	岩手県立久慈病院	集計対象	433	310	42	81.3	
岩手	岩手県立釜石病院	集計対象	380	172	88	68.4	
宮城	東北大学病院	集計対象	3,425	1,354	937	66.9	
宮城	宮城県立がんセンター	集計対象	1,815	969	436	77.4	
宮城	石巻赤十字病院	集計対象	1,419	933	170	77.7	
宮城	仙台医療センター		1,267	903	276	93.1	
宮城	大崎市立市民病院	集計対象	1,321	1,050	185	93.5	
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構東北労災病院	集計対象	892	571	195	85.9	
宮城	東北医科薬科大学病院		660	461	121	88.2	
宮城	みやぎ県南中核病院		408	314	52	89.7	
秋田	秋田大学医学部附属病院	集計対象	1,689	813	590	83.1	
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院	集計対象	532	389	76	87.4	
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター		616	466	81	88.8	
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 平鹿総合病院	集計対象	831	693	103	95.8	
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療センター	集計対象	543	411	57	86.2	
秋田	秋田赤十字病院	集計対象	1,145	885	156	90.9	
秋田	大館市立総合病院	集計対象	554	347	131	86.3	
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田厚生医療センター	集計対象	878	631	181	92.5	
山形	山形県立中央病院	集計対象	1,794	1,239	398	91.2	
山形	山形大学医学部附属病院	集計対象	1,741	936	429	78.4	
山形	山形市立病院済生館	集計対象	1,019	740	131	85.5	
山形	置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院	集計対象	824	560	153	86.5	
山形	日本海総合病院	集計対象	1,721	840	635	85.7	
福島	福島県立医科大学附属病院	集計対象	2,047	892	514	68.7	
福島	太田西ノ内病院	集計対象	1,715	1,176	319	87.2	
福島	一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院	集計対象	1,237	738	231	78.3	

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治 療(症例 区分2,3) 登録割合
福島	総合南東北病院	集計対象	1,912	1,035	398	74.9
福島	福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院	集計対象	791	496	37	67.4
茨城	茨城県立中央病院	集計対象	1,459	939	280	83.6
茨城	筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	901	659	117	86.1
茨城	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	1,751	1,270	218	85.0
茨城	株式会社日立製作所 日立総合病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	1,447	1,089	194	88.7
茨城	東京医科大学茨城医療センター	集計対象	839	596	139	87.6
茨城	友愛記念病院	集計対象	776	464	93	71.8
茨城	国立大学法人 筑波大学附属病院	集計対象	2,192	1,165	528	77.2
茨城	国立病院機構水戸医療センター	集計対象	928	633	207	90.5
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院	集計対象	439	310	43	80.4
茨城	医療法人社団善仁会小山記念病院	集計対象	361	170	18	52.1
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンター	集計対象	2,161	1,096	625	79.6
栃木	自治医科大学附属病院	集計対象	3,275	1,987	730	83.0
栃木	栃木県済生会宇都宮病院	集計対象	1,537	1,225	171	90.8
栃木	獨協医科大学病院	集計対象	2,462	1,670	466	86.8
栃木	那須赤十字病院	集計対象	837	658	34	82.7
群馬	群馬県立がんセンター	集計対象	2,080	959	722	80.8
群馬	群馬大学医学部附属病院	集計対象	2,943	1,431	1,002	82.7
群馬	独立行政法人国立病院機構渋川医療センター	集計対象	504	335	89	84.1
群馬	独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター	集計対象	1,284	813	178	77.2
群馬	桐生厚生総合病院	集計対象	751	615	44	87.7
群馬	前橋赤十字病院	集計対象	1,105	788	200	89.4
埼玉	さいたま赤十字病院	集計対象	1,305	1,002	176	90.3
埼玉	埼玉県立がんセンター	集計対象	3,912	1,906	1,222	80.0
埼玉	深谷赤十字病院	集計対象	376	289	75	96.8
埼玉	春日部市立医療センター	集計対象	762	451	93	71.4
埼玉	さいたま市立病院	集計対象	1,054	788	153	89.3
埼玉	埼玉医科大学総合医療センター	集計対象	2,378	1,387	349	73.0
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター	集計対象	1,805	1,130	294	78.9
埼玉	川口市立医療センター	集計対象	1,052	726	157	83.9
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター	集計対象	3,950	1,938	1,379	84.0
埼玉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口	集計対象	1,049	707	132	80.0
千葉	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院	集計対象	4,709	2,040	1,453	74.2
千葉	国保旭中央病院	集計対象	2,402	1,893	182	86.4
千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	集計対象	2,702	1,774	443	82.1
千葉	国保直営総合病院 君津中央病院	集計対象	1,348	962	139	81.7
千葉	千葉県がんセンター	集計対象	4,248	1,760	1,107	67.5
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構千葉労災病院	集計対象	937	711	157	92.6
千葉	船橋市立医療センター	集計対象	1,483	977	267	83.9
千葉	千葉大学医学部附属病院	集計対象	2,649	1,536	787	87.7
千葉	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	集計対象	843	631	136	91.0
千葉	東京歯科大学市川総合病院	集計対象	1,282	813	141	74.4
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院	集計対象	1,552	1,163	235	90.1
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院	集計対象	1,364	1,105	142	91.4
千葉	松戸市立総合医療センター	集計対象	1,193	652	85	61.8
千葉	日本医科大学千葉北総病院	集計対象	1,020	745	109	83.7
東京	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院	集計対象	6,686	2,315	2,024	64.9
東京	東京都立駒込病院	集計対象	3,666	1,778	835	71.3
東京	青梅市立総合病院	集計対象	819	677	98	94.6
東京	NTT 東日本関東病院	集計対象	2,120	1,235	488	81.3

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例区分2,3) 登録割合
東京	日本赤十字社医療センター	集計対象	1,943	896	357	64.5
東京	日本大学医学部附属板橋病院	集計対象	2,315	1,429	365	77.5
東京	武蔵野赤十字病院	集計対象	2,015	1,299	325	80.6
東京	がん研有明病院	集計対象	8,653	3,213	2,457	65.5
東京	国立大学法人 東京大学医学部附属病院	集計対象	3,512	1,632	857	70.9
東京	日本医科大学付属病院	集計対象	2,556	1,580	586	84.7
東京	聖路加国際病院	集計対象	2,202	1,235	532	80.2
東京	帝京大学医学部附属病院	集計対象	2,029	1,043	408	71.5
東京	東京医科大学八王子医療センター		1,286	886	199	84.4
東京	杏林大学医学部付属病院	集計対象	2,278	1,766	408	95.4
東京	順天堂大学医学部附属順天堂医院	集計対象	3,635	2,111	805	80.2
東京	昭和大学病院	集計対象	1,961	1,249	327	80.4
東京	慶應義塾大学病院	集計対象	3,549	1,893	786	75.5
東京	東京都立多摩総合医療センター	集計対象	2,090	1,160	531	80.9
東京	公立昭和病院	集計対象	1,446	918	212	78.1
東京	東邦大学医療センター大森病院		1,817	1,265	241	82.9
東京	東京都立墨東病院	集計対象	1,216	840	147	81.2
神奈川	神奈川県立がんセンター	集計対象	3,309	1,351	1,108	74.3
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	集計対象	2,035	1,400	283	82.7
神奈川	横浜市立市民病院	集計対象	1,689	1,142	274	83.8
神奈川	小田原市立病院	集計対象	739	528	98	84.7
神奈川	川崎市立井田病院	集計対象	689	399	75	68.8
神奈川	相模原協同病院		1,063	664	116	73.4
神奈川	公立大学法人 横浜市立大学附属病院		2,416	1,146	615	72.9
神奈川	聖マリアンナ医科大学病院	集計対象	2,387	1,533	558	87.6
神奈川	東海大学医学部付属病院	集計対象	3,279	2,005	668	81.5
神奈川	藤沢市民病院		1,317	975	187	88.2
神奈川	北里大学病院	集計対象	2,157	1,358	621	91.7
神奈川	横浜労災病院	集計対象	1,599	1,000	194	74.7
神奈川	昭和大学横浜市北部病院		1,954	1,179	471	84.4
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院	集計対象	2,852	1,719	940	93.2
新潟	新潟県立中央病院	集計対象	1,326	912	305	91.8
新潟	新潟市民病院		1,648	1,183	346	92.8
新潟	長岡赤十字病院	集計対象	1,583	1,179	274	91.8
新潟	新潟県厚生農業協同組合連合会長岡中央総合病院	集計対象	1,474	1,093	318	95.7
新潟	新潟大学医歯学総合病院		2,179	1,161	587	80.2
新潟	県立新発田病院	集計対象	1,221	858	246	90.4
新潟	労働者健康安全機構新潟労災病院	集計対象	423	347	59	96.0
富山	富山県立中央病院	集計対象	2,270	1,499	454	86.0
富山	黒部市民病院	集計対象	591	488	48	90.7
富山	国立大学法人 富山大学附属病院	集計対象	1,144	793	206	87.3
富山	厚生連高岡病院	集計対象	1,174	879	155	88.1
富山	市立砺波総合病院		641	472	53	81.9
石川	国立大学法人金沢大学附属病院	集計対象	2,048	1,036	417	70.9
石川	独立行政法人国立病院機構金沢医療センター	集計対象	758	527	103	83.1
石川	石川県立中央病院	集計対象	1,749	1,163	447	92.1
石川	金沢医科大学病院	集計対象	1,097	730	193	84.1
石川	小松市民病院	集計対象	769	521	91	79.6
福井	福井県立病院	集計対象	1,388	938	247	85.4
福井	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院	集計対象	1,424	1,066	213	89.8
福井	福井赤十字病院	集計対象	1,195	992	114	92.6
福井	福井大学医学部附属病院	集計対象	1,226	760	313	87.5
福井	独立行政法人国立病院機構敦賀医療センター		168	112	35	87.5

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2,3) 登録割合
山梨	山梨県立中央病院	集計対象	1,914	1,164	321	77.6
山梨	山梨大学医学部附属病院	集計対象	1,617	1,032	306	82.7
山梨	市立甲府病院	集計対象	362	252	43	81.5
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 佐久医療センター	集計対象	1,555	987	513	96.5
長野	信州大学医学部附属病院	集計対象	2,159	1,073	497	72.7
長野	諏訪赤十字病院	集計対象	1,057	689	183	82.5
長野	飯田市立病院	集計対象	841	648	134	93.0
長野	長野市民病院	集計対象	1,421	929	355	90.4
長野	長野赤十字病院	集計対象	1,654	948	319	76.6
長野	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院	集計対象	1,289	955	150	85.7
長野	伊那中央病院	集計対象	874	552	150	80.3
岐阜	岐阜市民病院	集計対象	1,260	945	159	87.6
岐阜	高山赤十字病院	集計対象	562	472	21	87.7
岐阜	岐阜県総合医療センター	集計対象	1,505	1,005	275	85.0
岐阜	岐阜県立多治見病院	集計対象	1,191	860	192	88.3
岐阜	大垣市民病院	集計対象	1,876	1,611	226	97.9
岐阜	中部国際医療センター	集計対象	1,059	498	161	62.2
静岡	静岡県立静岡がんセンター	集計対象	6,100	2,464	1,758	69.2
静岡	静岡県立総合病院	集計対象	2,455	1,608	585	89.3
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院	集計対象	1,410	830	202	73.2
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院	集計対象	1,998	1,371	375	87.4
静岡	順天堂大学医学部附属静岡病院	集計対象	1,466	994	226	83.2
静岡	静岡市立静岡病院	集計対象	938	740	85	88.0
静岡	藤枝市立総合病院	集計対象	1,154	916	96	87.7
静岡	浜松医科大学医学部附属病院	集計対象	1,416	739	417	81.6
静岡	浜松医療センター	集計対象	1,014	717	166	87.1
静岡	磐田市立総合病院	集計対象	1,077	797	109	84.1
静岡	富士市立中央病院	集計対象	761	400	74	62.3
愛知	愛知県がんセンター	集計対象	3,038	1,409	1,209	86.2
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	集計対象	1,966	1,473	181	84.1
愛知	海南病院	集計対象	1,063	848	111	90.2
愛知	国立病院機構 名古屋医療センター	集計対象	1,498	1,153	89	82.9
愛知	小牧市民病院	集計対象	1,554	1,242	160	90.2
愛知	豊橋市民病院	集計対象	2,088	1,476	362	88.0
愛知	名古屋大学医学部附属病院	集計対象	2,471	1,390	678	83.7
愛知	独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院	集計対象	1,047	818	145	92.0
愛知	一宮市立市民病院	集計対象	1,206	1,002	193	99.1
愛知	公立陶生病院	集計対象	1,117	900	120	91.3
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	集計対象	1,331	1,027	136	87.4
愛知	名古屋市立大学病院	集計対象	1,761	1,124	436	88.6
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	集計対象	2,073	1,456	279	83.7
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	集計対象	2,070	1,448	284	83.7
愛知	藤田医科大学病院	集計対象	2,506	1,414	754	86.5
三重	伊勢赤十字病院	集計対象	1,609	1,154	239	86.6
三重	松阪中央総合病院	集計対象	743	590	47	85.7
三重	三重大学医学部附属病院	集計対象	1,727	958	460	82.1
三重	三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院	集計対象	1,099	893	67	87.4
三重	市立四日市病院	集計対象	1,743	1,237	246	85.1
滋賀	市立長浜病院	集計対象	565	489	33	92.4
滋賀	滋賀県立総合病院	集計対象	1,115	747	196	84.6

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2,3) 登録割合
滋賀	大津赤十字病院	集計対象	1,452	1,045	212	86.6
滋賀	彦根市立病院	集計対象	634	441	93	84.2
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院	集計対象	1,286	736	351	84.5
滋賀	高島市民病院		184	116	(7-9)	67.4
京都	京都桂病院		1,219	1,049	73	92.0
京都	京都市立病院	集計対象	1,124	708	135	75.0
京都	京都第一赤十字病院	集計対象	1,503	1,120	209	88.4
京都	京都第二赤十字病院	集計対象	1,549	1,172	175	87.0
京都	国立病院機構 京都医療センター	集計対象	1,648	1,128	258	84.1
京都	市立福知山市民病院	集計対象	770	503	106	79.1
京都	京都岡本記念病院		416	266	16	67.8
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター	集計対象	1,789	1,210	204	79.0
大阪	市立岸和田市民病院	集計対象	1,295	913	159	82.8
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療センター	集計対象	1,239	971	137	89.4
大阪	市立豊中病院	集計対象	1,826	1,420	227	90.2
大阪	大阪国際がんセンター	集計対象	3,210	2,526	290	87.7
大阪	大阪市立総合医療センター	集計対象	2,783	1,612	658	81.6
大阪	大阪赤十字病院	集計対象	2,449	1,804	340	87.5
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター	集計対象	804	520	150	83.3
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院	集計対象	1,534	1,123	279	91.4
大阪	大阪大学医学部附属病院		3,324	1,241	916	64.9
大阪	大阪医科薬科大学病院	集計対象	2,025	1,059	670	85.4
大阪	大阪公立大学医学部附属病院	集計対象	2,620	1,496	715	84.4
大阪	国立病院機構大阪医療センター	集計対象	1,509	1,082	290	90.9
大阪	八尾市立病院	集計対象	760	594	91	90.1
兵庫	兵庫県立がんセンター	集計対象	3,210	1,604	987	80.7
兵庫	神戸大学医学部附属病院	集計対象	3,331	1,432	913	70.4
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院	集計対象	2,093	1,311	422	82.8
兵庫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院	集計対象	1,640	1,012	324	81.5
兵庫	公立学校共済組合近畿中央病院	集計対象	792	621	115	92.9
兵庫	姫路赤十字病院	集計対象	1,609	1,089	312	87.1
兵庫	赤穂市民病院	集計対象	574	527	27	96.5
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院	集計対象	939	662	154	86.9
兵庫	兵庫県立淡路医療センター	集計対象	609	470	68	88.3
兵庫	兵庫医科大学病院	集計対象	2,665	1,281	621	71.4
兵庫	兵庫県立丹波医療センター	集計対象	240	109	59	70.0
兵庫	神戸市立西神戸医療センター		1,519	999	189	78.2
兵庫	神鋼記念病院		1,019	756	174	91.3
奈良	奈良県立医科大学附属病院	集計対象	2,396	1,285	524	75.5
奈良	奈良県総合医療センター	集計対象	860	527	186	82.9
奈良	天理よろづ相談所病院	集計対象	1,969	1,732	207	98.5
奈良	近畿大学奈良病院		1,250	761	220	78.5
奈良	市立奈良病院	集計対象	701	488	76	80.5
和歌山	紀南病院		661	359	112	71.3
和歌山	南和歌山医療センター		587	324	157	81.9
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター	集計対象	1,603	1,304	226	95.4
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院	集計対象	2,267	1,264	743	88.5
和歌山	橋本市民病院		532	319	71	73.3
和歌山	公立那賀病院		571	361	77	76.7
鳥取	鳥取県立厚生病院	集計対象	526	395	55	85.6
鳥取	鳥取県立中央病院	集計対象	774	665	75	95.6
鳥取	鳥取大学医学部附属病院	集計対象	1,586	983	291	80.3
島根	松江市立病院	集計対象	775	523	89	79.0

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例 区分2,3) 登録割合
島根	松江赤十字病院	集計対象	1,158	851	142	85.8
島根	島根大学医学部附属病院	集計対象	1,193	714	300	85.0
島根	島根県立中央病院	集計対象	1,236	1,026	119	92.6
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター	集計対象	626	468	70	85.9
岡山	岡山済生会総合病院	集計対象	1,490	946	261	81.0
岡山	岡山赤十字病院	集計対象	913	676	108	85.9
岡山	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	集計対象	3,086	2,307	433	88.8
岡山	津山中央病院	集計対象	1,363	916	157	78.7
岡山	岡山医療センター	集計対象	1,089	780	163	86.6
岡山	川崎医科大学附属病院	集計対象	1,565	942	325	81.0
広島	県立広島病院	集計対象	1,532	874	281	75.4
広島	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院		2,751	1,751	601	85.5
広島	広島赤十字・原爆病院	集計対象	1,338	1,025	172	89.5
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター	集計対象	1,552	1,012	228	79.9
広島	東広島医療センター	集計対象	765	437	95	69.5
広島	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院	集計対象	1,040	758	173	89.5
広島	福山市民病院	集計対象	1,385	676	385	76.6
広島	市立三次中央病院		610	471	63	87.5
山口	山口県立総合医療センター	集計対象	680	519	110	92.5
山口	国立病院機構 岩国医療センター	集計対象	955	619	163	81.9
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院	集計対象	658	490	65	84.3
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院	集計対象	1,422	980	245	86.1
山口	山口大学医学部附属病院	集計対象	1,717	857	559	82.5
山口	医療法人医誠会 都志見病院	集計対象	299	172	20	64.2
徳島	徳島県立中央病院	集計対象	976	727	136	88.4
徳島	徳島大学病院	集計対象	1,611	805	536	83.2
徳島	徳島赤十字病院	集計対象	1,029	702	191	86.8
徳島	徳島市民病院		811	482	191	83.0
徳島	徳島県立三好病院		198	117	11	64.6
香川	香川県立中央病院	集計対象	1,449	859	395	86.5
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院	集計対象	1,309	948	212	88.6
香川	三豊総合病院		1,033	797	99	86.7
香川	高松赤十字病院	集計対象	1,084	752	182	86.2
香川	国立大学法人 香川大学医学部附属病院	集計対象	1,314	727	313	79.1
愛媛	市立宇和島病院	集計対象	1,094	748	175	84.4
愛媛	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	集計対象	3,045	1,500	921	79.5
愛媛	住友別子病院	集計対象	548	393	45	79.9
愛媛	愛媛大学医学部附属病院	集計対象	1,370	710	396	80.7
愛媛	愛媛県立中央病院	集計対象	1,690	1,270	258	90.4
愛媛	松山赤十字病院	集計対象	1,427	1,084	148	86.3
愛媛	社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院	集計対象	490	259	107	74.7
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院	集計対象	1,615	1,007	377	85.7
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター	集計対象	1,201	758	413	97.5
福岡	久留米大学病院	集計対象	2,637	1,453	639	79.3
福岡	公立八女総合病院	集計対象	564	403	75	84.8
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院	集計対象	712	443	131	80.6
福岡	社会保険田川病院	集計対象	679	445	84	77.9
福岡	飯塚病院	集計対象	1,880	1,454	241	90.2
福岡	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター	集計対象	538	379	60	81.6
福岡	北九州市立医療センター	集計対象	2,378	1,218	686	80.1
福岡	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	集計対象	2,438	1,135	658	73.5
福岡	九州大学病院	集計対象	3,449	1,598	840	70.7

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例 区分2,3) 登録割合
福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	集計対象	1,967	1,317	377	86.1
福岡	福岡県済生会福岡総合病院	集計対象	1,170	753	227	83.8
福岡	福岡大学病院	集計対象	1,832	999	455	79.4
福岡	聖マリア病院	集計対象	1,236	824	52	70.9
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院	集計対象	1,909	1,219	312	80.2
福岡	産業医科大学病院	集計対象	1,779	947	434	77.6
福岡	戸畑共立病院		927	371	181	59.5
福岡	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	集計対象	976	648	156	82.4
福岡	医療法人原三信病院		1,253	832	272	88.1
佐賀	地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館	集計対象	1,147	636	255	77.7
佐賀	国立大学法人 佐賀大学医学部附属病院	集計対象	1,815	853	426	70.5
佐賀	唐津赤十字病院	集計対象	712	457	54	71.8
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター	集計対象	769	513	106	80.5
長崎	日本赤十字社長崎原爆病院	集計対象	979	733	155	90.7
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター	集計対象	1,661	1,090	408	90.2
長崎	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター	集計対象	1,487	940	298	83.3
長崎	長崎みなとメディカルセンター		961	648	150	83.0
長崎	国立大学法人 長崎大学病院	集計対象	2,233	1,120	749	83.7
長崎	長崎県島原病院	集計対象	529	312	106	79.0
熊本	熊本大学病院	集計対象	2,679	1,379	662	76.2
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	集計対象	691	451	118	82.3
熊本	人吉医療センター	集計対象	659	392	92	73.4
熊本	熊本赤十字病院	集計対象	1,405	965	234	85.3
熊本	国立病院機構 熊本医療センター	集計対象	1,572	963	242	76.7
熊本	済生会熊本病院		1,752	1,047	350	79.7
熊本	荒尾市民病院	集計対象	389	269	56	83.5
大分	大分県立病院	集計対象	1,379	927	283	87.7
大分	大分赤十字病院	集計対象	819	497	168	81.2
大分	大分大学医学部附属病院	集計対象	1,560	740	506	79.9
大分	独立行政法人国立病院機構別府医療センター		596	455	90	91.4
大分	大分県済生会日田病院	集計対象	344	168	50	63.4
宮崎	宮崎県立宮崎病院	集計対象	993	748	188	94.3
宮崎	国立病院機構 都城医療センター	集計対象	685	397	133	77.4
宮崎	国立大学法人 宮崎大学医学部附属病院		1,318	772	301	81.4
鹿児島	鹿児島大学病院	集計対象	2,184	870	672	70.6
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター	集計対象	678	309	198	74.8
鹿児島	鹿児島県立薩南病院	集計対象	199	120	50	85.4
鹿児島	鹿児島県立大島病院	集計対象	303	228	40	88.4
鹿児島	済生会川内病院		614	291	81	60.6
鹿児島	独立行政法人国立病院機構南九州病院	集計対象	232	150	52	87.1
鹿児島	県民健康プラザ鹿屋医療センター	集計対象	375	139	117	68.3
鹿児島	鹿児島市立病院	集計対象	1,022	547	205	73.6
鹿児島	公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院	集計対象	827	466	147	74.1
鹿児島	出水郡医師会広域医療センター	集計対象	324	195	38	71.9
鹿児島	社会医療法人 博愛会 相良病院	集計対象	766	537	141	88.5
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院	集計対象	963	488	184	69.8
沖縄	北部地区医師会病院		225	141	(7-9)	65.8
沖縄	沖縄県立中部病院	集計対象	927	524	139	71.5
沖縄	琉球大学病院	集計対象	1,162	525	329	73.5

表 2-2-2 都道府県推薦病院調査参加施設の全登録数及び症例区分 2,3 の登録数

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例 区分 2,3) 登録割合
総数		24	38,851	26,567	5,654	82.9
北海道	国家公務員共済組合連合会 斗南病院		675	324	213	79.6
北海道	製鉄記念室蘭病院		618	538	16	89.6
北海道	苫小牧市立病院		618	567	(1-3)	92.2
青森	三沢市立三沢病院		404	283	51	82.7
青森	青森市民病院		553	403	112	93.1
秋田	中通総合病院	集計対象	598	434	116	92.0
山形	鶴岡市立荘内病院		891	665	150	91.5
福島	労働者健康安全機構福島労災病院	集計対象	989	522	230	76.0
福島	会津中央病院	集計対象	691	556	65	89.9
茨城	茨城西南医療センター病院	集計対象	421	291	39	78.4
茨城	水戸済生会総合病院		805	617	83	87.0
群馬	独立行政法人地域医療機能推進機構 群馬中央病院	集計対象	356	316	(1-3)	89.0
群馬	SUBARU 健康保険組合 太田記念病院		221	191	20	95.5
群馬	群馬県済生会前橋病院	集計対象	494	306	129	88.1
群馬	原町赤十字病院	集計対象	221	171	(1-3)	78.7
埼玉	秀和総合病院		518	413	46	88.6
埼玉	埼玉協同病院		509	343	34	74.1
東京	東京女子医科大学病院		4,019	1,915	954	71.4
東京	日本医科大学多摩永山病院		731	503	98	82.2
東京	順天堂大学医学部附属練馬病院		982	789	157	96.3
東京	国際医療福祉大学三田病院		1,213	526	252	64.1
東京	J R 東京総合病院		498	392	41	86.9
東京	東京都済生会中央病院		911	710	80	86.7
神奈川	国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院	集計対象	971	779	61	86.5
神奈川	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター		633	406	129	84.5
神奈川	済生会横浜市南部病院	集計対象	1,078	770	137	84.1
富山	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院	集計対象	214	179	10	88.3
富山	高岡市民病院		690	557	55	88.7
富山	富山赤十字病院		835	604	84	82.4
石川	芳珠記念病院	集計対象	253	173	23	77.5
静岡	沼津市立病院	集計対象	911	653	101	82.8
静岡	焼津市立総合病院	集計対象	776	538	76	79.1
愛知	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院		1,473	1,164	127	87.6
三重	済生会松阪総合病院		517	417	60	92.3
三重	松阪市民病院		403	346	36	94.8
滋賀	済生会滋賀県病院	集計対象	476	382	51	91.0
京都	社会福祉法人 恩賜財団 済生会京都府病院		145	117	12	89.0
大阪	地方独立行政法人 市立吹田市民病院		658	494	86	88.1
大阪	パナソニック健康保険組合松下記念病院	集計対象	797	509	155	83.3
大阪	ベルランド総合病院	集計対象	1,053	751	105	81.3
大阪	社会医療法人 生長会 府中病院		792	578	124	88.6
兵庫	独立行政法人 国立病院機構 神戸医療センター		612	414	54	76.5
奈良	国保中央病院		464	98	10	23.3
鳥取	独立行政法人国立病院機構米子医療センター	集計対象	519	330	89	80.7
鳥取	鳥取市立病院	集計対象	564	433	76	90.2
島根	松江医療センター		119	97	(4-6)	85.7
岡山	川崎医科大学総合医療センター		531	291	45	63.3
広島	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院		704	583	63	91.8
広島	公立学校共済組合 中国中央病院	集計対象	526	430	89	98.7
山口	総合病院山口赤十字病院		601	399	66	77.4
高知	高知赤十字病院		742	505	98	81.3

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例 区分2,3) 登録割合
長崎	独立行政法人地域医療機能推進機構諫早総合病院		552	370	114	87.7
長崎	社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院	集計対象	649	423	113	82.6
熊本	独立行政法人国立病院機構熊本再春医療センター		194	120	42	83.5
熊本	大腸肛門病センター高野病院	集計対象	212	150	51	94.8
熊本	天草地域医療センター	集計対象	287	221	47	93.4
鹿児島	鹿児島市医師会病院	集計対象	576	278	276	96.2
沖縄	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	集計対象	388	233	91	83.5

Ⅲ 2010年10年生存率集計 結果詳細(全体) : 悪性新生物<腫瘍>

1. 全がん

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	316	341,335	181,535	96.9	67.2

(0) 全がんの生存率集計値

全がんでの生存率集計値の算定に当たり、特性が異なるがんの生存率算定の意義について疑問を呈する声もあったが、先行する地域がん登録、全国がんセンター協議会加盟施設における既存生存率集計と比較するため、ここでは院内がん登録10年生存率集計においても全がんでの生存率集計結果について提示する。

(1) 生存状況把握割合

対象者は341,335例で、その内10年以内に死亡していた者は181,535例、打ち切りが10,733例であった。全体として、生存状況把握割合は96.9%であった。

(2) 対象者の属性

本集計対象者の属性を表3-1-1に示す。男性が58.1%、女性が41.9%とやや男性が多かった。診断時の年齢は、男女とも70歳代が最も多く、次いで60歳代となっており、60歳代、70歳代で全体の約60.0%を占めた。59.9%の対象者に観血的治療が実施されており、52.5%が原発巣・治癒切除であった。発見経緯別にみると、がん検診または健康診断等が15.8%であった。部位別にみると、男性では胃、肺、前立腺、大腸の順に、女性では乳房、大腸、胃の順に多かった。

表 3-1-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	198,398	100.0	142,937	100.0	341,335	100.0
拠点病院等	192,218	96.9	138,273	96.7	330,491	96.8
都道府県推薦病院	6,180	3.1	4,664	3.3	10,844	3.2
年齢						
平均年齢(SD)	68.7(11.8)		65.1(15.0)		67.2(13.4)	
0-14歳	705	0.4	589	0.4	1,294	0.4
15-39歳	3,982	2.0	7,740	5.4	11,722	3.4
40歳代	6,340	3.2	14,172	9.9	20,512	6.0
50歳代	22,598	11.4	22,789	15.9	45,387	13.3
60歳代	61,428	31.0	36,291	25.4	97,719	28.6
70歳代	71,202	35.9	36,807	25.8	108,009	31.6
80歳以上	32,143	16.2	24,549	17.2	56,692	16.6
観血的治療						
有	106,588	53.7	97,769	68.4	204,357	59.9
原発巣・治癒切除	93,231	47.0	85,854	60.1	179,085	52.5
原発巣・非治癒切除	9,209	4.6	7,769	5.4	16,978	5.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	4,148	2.1	4,146	2.9	8,294	2.4
無	91,810	46.3	45,168	31.6	136,978	40.1
発見経緯						
がん検診	13,475	6.8	13,707	9.6	27,182	8.0
健康診断・人間ドック	17,867	9.0	8,787	6.1	26,654	7.8
他疾患経過観察中	61,836	31.2	33,211	23.2	95,047	27.8
その他・不明	105,220	53.0	87,232	61.0	192,452	56.4
部位						
口腔・口唇	2,755	1.4	1,815	1.3	4,570	1.3
大唾液腺	422	0.2	317	0.2	739	0.2
中咽頭	1,445	0.7	319	0.2	1,764	0.5
上咽頭	321	0.2	116	0.1	437	0.1
下咽頭	2,066	1.0	171	0.1	2,237	0.7
食道	9,535	4.8	1,636	1.1	11,171	3.3
胃	34,959	17.6	14,667	10.3	49,626	14.5
小腸	666	0.3	370	0.3	1,036	0.3
結腸	14,579	7.3	11,971	8.4	26,550	7.8
直腸	9,758	4.9	5,338	3.7	15,096	4.4
大腸(再掲)	24,337	12.3	17,309	12.1	41,646	12.2
肛門・肛門管	157	0.1	173	0.1	330	0.1
肝臓	10,773	5.4	4,934	3.5	15,707	4.6
胆嚢胆管	3,862	1.9	3,129	2.2	6,991	2.0
膵臓	5,911	3.0	4,769	3.3	10,680	3.1
喉頭	2,918	1.5	212	0.1	3,130	0.9
肺	29,551	14.9	13,377	9.4	42,928	12.6
骨軟部	1,020	0.5	821	0.6	1,841	0.5
皮膚	4,240	2.1	4,020	2.8	8,260	2.4
乳房	166	0.1	29,813	20.9	29,979	8.8
膣・外陰	0	-	615	0.4	615	0.2
子宮頸部	0	-	6,237	4.4	6,237	1.8
子宮体部	0	-	6,816	4.8	6,816	2.0
子宮	0	-	33	0.0	33	0.0
卵巣	0	-	4,521	3.2	4,521	1.3
前立腺	28,044	14.1	0	-	28,044	8.2
精巣	943	0.5	0	-	943	0.3
腎	4,796	2.4	1,988	1.4	6,784	2.0
膀胱	5,456	2.8	1,660	1.2	7,116	2.1
腎盂・尿管	1,918	1.0	972	0.7	2,890	0.8
脳・中枢神経系	3,562	1.8	4,698	3.3	8,260	2.4
甲状腺	1,577	0.8	4,426	3.1	6,003	1.8
悪性リンパ腫	6,877	3.5	5,756	4.0	12,633	3.7
多発性骨髄腫	1,369	0.7	1,146	0.8	2,515	0.7
白血病	2,991	1.5	2,144	1.5	5,135	1.5

その他の血液	2,130	1.1	1,361	1.0	3,491	1.0
その他	3,631	1.8	2,596	1.8	6,227	1.8

(3)10年生存率

表 3-1-2 に、実測生存率及びネット・サバイバルを示す。年齢が高いほど実測生存率とネット・サバイバルとの乖離が大きくなっているが、これは若年者と比較して高齢者ではがん以外の要因で死亡する例が多くなることが影響していると考えられる。観血的治療の実施別にみると、男女ともに観血的治療有、特に原発巣・治癒切除例において生存率が高くなっていた。

表 3-1-2 属性別 10 年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間
全体	39.7	48.7	48.4 49.0	55.0	59.8	59.5 60.1	46.1	53.3	53.1 53.6
拠点病院等	39.8	48.8	48.5 49.1	55.2	59.9	59.6 60.2	46.2	53.5	53.2 53.7
都道府県推薦病院	36.6	45.2	43.5 46.9	50.8	55.9	54.1 57.6	42.7	49.8	48.5 51.0
年齢									
0-14 歳	80.2	80.5	77.6 83.5	78.1	78.4	75.0 81.7	79.2	79.5	77.3 81.8
15-39 歳	74.6	75.2	73.8 76.6	81.7	82.1	81.3 83.0	79.3	79.8	79.0 80.5
40 歳代	62.2	63.5	62.3 64.8	80.1	81.0	80.3 81.6	74.6	75.6	75.0 76.2
50 歳代	55.7	58.9	58.2 59.6	71.5	73.2	72.6 73.8	63.7	66.1	65.7 66.6
60 歳代	48.8	55.2	54.8 55.7	62.7	65.8	65.3 66.4	53.9	59.2	58.8 59.5
70 歳代	34.8	46.8	46.3 47.2	45.2	51.7	51.1 52.3	38.3	48.4	48.1 48.8
80 歳以上	12.3	26.3	25.4 27.1	19.2	30.2	29.3 31.1	15.3	28.0	27.3 28.6
観血的治療									
有	53.2	64.6	64.2 65.0	69.4	75.3	75.0 75.7	60.9	69.7	69.5 70.0
原発巣・治癒切除	56.0	68.2	67.8 68.6	72.5	78.9	78.5 79.3	63.9	73.3	73.0 73.6
原発巣・非治癒切除	28.9	34.3	33.1 35.5	38.2	41.0	39.7 42.2	33.2	37.4	36.5 38.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	42.9	50.6	48.6 52.6	61.8	66.1	64.4 67.8	52.3	58.3	57.0 59.7
無	23.9	30.1	29.7 30.5	23.6	25.8	25.3 26.3	23.8	28.7	28.4 29.0

2. 胃がん(胃癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	316	49,109	25,350	96.9	69.9
I 期	316	31,649	11,185	96.3	69.9
II 期	314	3,715	2,066	96.9	70.0
III 期	312	3,413	2,459	97.4	69.6
IV 期	316	9,700	9,074	98.4	69.2

(1) 生存状況把握割合

集計対象者は、49,109 例で、10 年以内に死亡していた者は 25,350 例、打ち切りが 1,544 例で、生存状況把握割合は、全体で 96.9%であった。

歳代が最も多く、次いで 60 歳代となっており、60 歳代・70 歳代で全体の 6 割以上を占めた。UICC TNM 分類総合ステージを見ると、I 期が約 6 割、次いで IV 期が約 2 割であった。約 8 割において観血的治療が実施されており、74.5%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 29.4%であった。

(2) 対象者の属性

胃の集計対象者の属性を表 3-2-1 に示す。性別にみると、男性が 7 割以上を占めた。診断時の年齢は、70

表 3-2-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	34,676	100.0	14,433	100.0	49,109	100.0
拠点病院等	33,244	95.9	13,845	95.9	47,089	95.9
都道府県推薦病院	1,432	4.1	588	4.1	2,020	4.1
年齢		0.0		0.0	0	0.0
平均年齢 (SD)	69.8 (10.1)		70.0 (12.4)		69.9 (10.8)	
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	273	0.8	322	2.2	595	1.2
40 歳代	835	2.4	673	4.7	1,508	3.1
50 歳代	4,001	11.5	1,635	11.3	5,636	11.5
60 歳代	10,701	30.9	3,609	25.0	14,310	29.1
70 歳代	12,992	37.5	4,755	32.9	17,747	36.1
80 歳以上	5,874	16.9	3,439	23.8	9,313	19.0
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	22,577	65.1	9,072	62.9	31,649	64.4
II 期	2,611	7.5	1,104	7.6	3,715	7.6
III 期	2,441	7.0	972	6.7	3,413	6.9
IV 期	6,622	19.1	3,078	21.3	9,700	19.8
不詳	425	1.2	207	1.4	632	1.3
観血的治療						
有	28,182	81.3	11,518	79.8	39,700	80.8
原発巣・治癒切除	25,986	74.9	10,597	73.4	36,583	74.5
原発巣・非治癒切除	1,691	4.9	735	5.1	2,426	4.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	505	1.5	186	1.3	691	1.4
無	6,494	18.7	2,915	20.2	9,409	19.2
発見経緯						
がん検診	3,564	10.3	1,452	10.1	5,016	10.2
健康診断・人間ドック	4,581	13.2	1,371	9.5	5,952	12.1
他疾患経過観察中	10,755	31.0	3,687	25.5	14,442	29.4
その他・不明	15,776	45.5	7,923	54.9	23,699	48.3

(3)10年生存率

男女別にみた10年ネット・サバイバルはほぼ同様であった。年代別にみると、70歳以上では実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、がん以外による死亡も無視できないと考えられる。また、観血治療を受けた者では、ネット・サバイバルは全体で69.9%であった。

表 3-2-2 属性別 10年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間
全体	46.0	57.1	56.4 57.9	52.1	58.9	57.9 59.9	47.8	57.6	57.0 58.3
拠点病院等	46.1	57.3	56.6 58.1	52.3	59.1	58.1 60.2	47.9	57.9	57.2 58.5
都道府県推薦病院	42.5	52.3	48.6 56.0	47.0	52.9	47.6 58.2	43.8	52.5	49.4 55.5
年齢									
0-39歳	60.2	60.7	54.8 66.7	57.7	58.0	52.4 63.5	58.8	59.3	55.2 63.3
40歳代	69.7	71.2	67.9 74.5	69.2	69.9	66.4 73.5	69.5	70.7	68.2 73.1
50歳代	67.0	71.0	69.4 72.6	66.3	67.9	65.5 70.3	66.8	70.1	68.8 71.4
60歳代	58.7	66.4	65.3 67.5	65.1	68.4	66.8 70.1	60.3	66.9	66.0 67.8
70歳代	40.6	54.7	53.5 55.9	53.7	61.7	60.0 63.3	44.1	56.5	55.6 57.5
80歳以上	15.6	33.5	31.3 35.7	24.7	38.0	35.5 40.5	19.0	35.2	33.5 36.8
UICC TNM 分類総合ステージ									
I期	61.2	76.3	75.4 77.3	71.4	81.0	79.8 82.3	64.1	77.7	76.9 78.4
II期	41.3	50.1	47.5 52.8	48.9	54.9	51.2 58.7	43.6	51.6	49.4 53.7
III期	25.4	30.6	28.4 32.9	30.7	33.6	30.2 37.1	26.9	31.5	29.6 33.4
IV期	5.1	6.1	5.4 6.8	5.2	5.7	4.8 6.5	5.1	6.0	5.4 6.5
不詳	8.0	10.2	6.2 14.2	9.5	11.7	5.9 17.5	8.5	10.8	7.5 14.1
観血的治療									
有	55.6	69.0	68.2 69.8	63.9	72.2	71.1 73.4	58.0	69.9	69.3 70.6
原発巣・治癒切除	58.5	72.7	71.8 73.5	67.7	76.5	75.3 77.6	61.2	73.8	73.1 74.5
原発巣・非治癒切除	17.0	21.7	19.1 24.2	15.8	18.5	15.2 21.8	16.6	20.7	18.7 22.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	31.1	38.0	32.3 43.6	37.1	41.7	33.4 50.0	32.7	38.9	34.3 43.6
無	3.5	4.6	3.9 5.2	4.5	5.4	4.3 6.4	3.8	4.8	4.2 5.4

3. 大腸がん(大腸癌)・結腸がん(結腸癌)・直腸がん(直腸癌)

大腸がん(大腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	316	40,896	20,739	96.7	69.3
I 期	316	10,573	3,373	96.1	69.0
II 期	316	11,008	4,610	96.1	70.7
III 期	316	10,628	5,070	96.7	68.7
IV 期	316	8,137	7,217	98.0	67.8

(1) 生存状況把握割合

集計対象 40,896 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 20,739 例、打ち切りが 1,361 例で、全体として生存状況把握割合は 96.7%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-3①-1 に示す。性別にみると、女性より男性がやや多く男性が 58.4%を占めた。診断時の

年齢は、男女ともに 70 歳代が最も多く、次いで 60 歳代が多くなっていた。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I、II、III 期ともに 25%前後にばらついていた。87.9%の対象者がなんらかの観血的治療を受けており、77.6%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 23.5%、がん検診が 9.7%、健康診断・人間ドックが 8.2%であった。

表 3-3①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	23,865	100.0	17,031	100.0	40,896	100.0
拠点病院等	22,621	94.8	16,072	94.4	38,693	94.6
都道府県推薦病院	1,244	5.2	959	5.6	2,203	5.4
年齢						
平均年齢 (SD)	68.7(10.9)		70.0(12.3)		69.3(11.5)	
0-14 歳	0	0.0	(1-3)	0.0	(1-3)	0.0
15-39 歳	305	1.3	274	1.6	579	1.4
40 歳代	888	3.7	794	4.7	1,682	4.1
50 歳代	3,145	13.2	2,143	12.6	5,288	12.9
60 歳代	7,579	31.8	4,398	25.8	11,977	29.3
70 歳代	8,182	34.3	5,382	31.6	13,564	33.2
80 歳以上	3,766	15.8	4,039	23.7	7,805	19.1
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	6,545	27.4	4,028	23.7	10,573	25.9
II 期	6,356	26.6	4,652	27.3	11,008	26.9
III 期	5,954	24.9	4,674	27.4	10,628	26.0
IV 期	4,697	19.7	3,440	20.2	8,137	19.9
不詳	313	1.3	237	1.4	550	1.3
観血的治療						
有	20,962	87.8	14,992	88.0	35,954	87.9
原発巣・治癒切除	18,502	77.5	13,245	77.8	31,747	77.6
原発巣・非治癒切除	1,942	8.1	1,375	8.1	3,317	8.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	518	2.2	372	2.2	890	2.2
無	2,903	12.2	2,039	12.0	4,942	12.1
発見経緯						
がん検診	2,327	9.8	1,624	9.5	3,951	9.7
健康診断・人間ドック	2,110	8.8	1,225	7.2	3,335	8.2
他疾患経過観察中	5,842	24.5	3,772	22.1	9,614	23.5
その他・不明	13,586	56.9	10,410	61.1	23,996	58.7

(3)10年生存率

10年生存率を表3-3①-2に示す。10年ネット・サバイバルは、男女ともほぼ同様であり全体では57.9%であった。他の部位と同様、年代が高くなるほど、実測生存率とネット・サバイバルの差が大きくなるが、これは高齢者ほど他疾患で亡くなる例が少なくないためと考えられる。UICC TNM分類総合ステージ別にネット・サバイバルをみると、I期では80.4%、II期では69.2%であった。観血的治療を受けたものは、ネット・サバイバルは64.7%であり、原発巣・治癒切除例においては69.8%であった。

表3-3①-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	46.0	56.9	55.9	57.8	52.3	59.3	58.3	60.2	48.6	57.9	57.2	58.5
拠点病院等	45.9	56.8	55.9	57.8	52.2	59.1	58.1	60.1	48.5	57.8	57.1	58.5
都道府県推薦病院	47.1	57.2	53.0	61.4	53.5	62.4	58.0	66.7	49.8	59.4	56.3	62.4
年齢												
0-39歳	63.6	64.2	58.6	69.8	60.6	60.9	54.9	66.9	62.2	62.6	58.5	66.7
40歳代	59.7	60.9	57.5	64.3	66.0	66.8	63.3	70.2	62.7	63.7	61.3	66.1
50歳代	62.8	66.4	64.6	68.3	68.4	70.1	68.0	72.2	65.1	67.9	66.5	69.3
60歳代	56.4	63.8	62.5	65.1	65.4	68.8	67.3	70.4	59.7	65.6	64.6	66.6
70歳代	41.3	55.6	54.1	57.1	53.5	61.6	60.0	63.1	46.2	58.0	56.9	59.1
80歳以上	16.9	36.3	33.3	39.2	24.0	37.9	35.5	40.3	20.5	37.1	35.2	39.0
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	63.6	78.7	77.0	80.4	73.9	83.2	81.4	85.1	67.5	80.4	79.1	81.7
II期	53.5	67.0	65.1	68.9	62.7	72.3	70.3	74.3	57.3	69.2	67.9	70.6
III期	48.7	59.6	57.8	61.4	55.7	62.7	60.8	64.5	51.8	60.9	59.7	62.2
IV期	9.5	11.3	10.2	12.3	10.3	11.0	9.9	12.2	9.8	11.2	10.4	12.0
不詳	12.7	15.9	10.6	21.3	14.1	15.9	10.3	21.6	13.3	15.9	12.0	19.9
観血的治療												
有	51.4	63.5	62.5	64.5	58.6	66.4	65.3	67.4	54.4	64.7	64.0	65.4
原発巣・治癒切除	55.4	68.6	67.5	69.7	63.1	71.6	70.5	72.7	58.6	69.8	69.1	70.6
原発巣・非治癒切除	15.8	18.9	16.7	21.0	16.6	18.4	16.1	20.8	16.1	18.7	17.1	20.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	39.0	47.1	41.4	52.8	49.7	56.0	49.6	62.4	43.5	50.8	46.5	55.1
無	6.3	7.9	6.6	9.1	5.3	6.0	4.7	7.2	5.9	7.1	6.2	8.0

結腸がん(結腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	316	26,499	13,578	96.7	70.3
I 期	316	6,681	2,175	96.3	69.8
II 期	316	7,627	3,221	96.0	71.6
III 期	316	6,450	3,072	96.7	70.1
IV 期	315	5,380	4,799	98.0	68.8

(1) 生存状況把握割合

対象数は、26,499 例、うち死亡数が 13,578 例、打ち切り数が 868 例で生存状況把握割合は 96.7%であった。

(2) 対象者の属性

男性が約 55%、女性が約 45%を占め、平均年齢は、70.3 歳であった。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、I～III 期が約 25%前後であった。約 89%になんらかの観血的治療が実施されていた。

表 3-3②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	14,550	100.0	11,949	100.0	26,499	100.0
拠点病院等	13,782	94.7	11,300	94.6	25,082	94.7
都道府県推薦病院	768	5.3	649	5.4	1,417	5.3
年齢						
平均年齢 (SD)	69.8 (10.7)		70.9 (12.0)		70.3 (11.3)	
0-14 歳	0	0.0	(1-3)	0.0	(1-3)	0.0
15-39 歳	160	1.1	164	1.4	324	1.2
40 歳代	440	3.0	472	4.0	912	3.4
50 歳代	1,600	11.0	1,327	11.1	2,927	11.0
60 歳代	4,402	30.3	2,971	24.9	7,373	27.8
70 歳代	5,328	36.6	3,923	32.8	9,251	34.9
80 歳以上	2,620	18.0	3,091	25.9	5,711	21.6
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	4,038	27.8	2,643	22.1	6,681	25.2
II 期	4,151	28.5	3,476	29.1	7,627	28.8
III 期	3,273	22.5	3,177	26.6	6,450	24.3
IV 期	2,899	19.9	2,481	20.8	5,380	20.3
不詳	189	1.3	172	1.4	361	1.4
観血的治療						
有	12,929	88.9	10,579	88.5	23,508	88.7
原発巣・治癒切除	11,387	78.3	9,332	78.1	20,719	78.2
原発巣・非治癒切除	1,226	8.4	994	8.3	2,220	8.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	316	2.2	253	2.1	569	2.1
無	1,621	11.1	1,370	11.5	2,991	11.3
発見経緯						
がん検診	1,493	10.3	1,218	10.2	2,711	10.2
健康診断・人間ドック	1,345	9.2	908	7.6	2,253	8.5
他疾患経過観察中	4,097	28.2	3,001	25.1	7,098	26.8
その他・不明	7,615	52.3	6,822	57.1	14,437	54.5

(3)10年生存率

表 3-3②-2 結腸に、属性別 10 年実測生存率とネット・サバイバルを示す。年齢が高くなるほど実測生存率とネット・サバイバルの差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなるものが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期ではネット・サバイバルは 80.1%であった。

表 3-3②-2 属性別 10 年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間
全体	45.4	57.1	55.9 58.3	51.0	58.4	57.2 59.6	47.9	57.7	56.8 58.5
拠点病院等	45.3	57.1	55.8 58.3	50.9	58.1	56.9 59.3	47.8	57.5	56.7 58.4
都道府県推薦病院	47.6	57.9	52.1 63.6	54.0	63.8	58.1 69.6	50.4	60.5	56.4 64.6
年齢									
0-39 歳	63.7	64.2	56.4 72.0	57.8	58.1	50.4 65.9	60.6	61.0	55.5 66.5
40 歳代	60.6	61.8	57.0 66.6	63.9	64.7	60.2 69.2	62.3	63.3	60.0 66.6
50 歳代	64.7	68.4	65.9 71.0	67.2	68.9	66.2 71.6	65.8	68.6	66.8 70.5
60 歳代	57.9	65.5	63.8 67.2	64.9	68.3	66.4 70.1	60.7	66.6	65.4 67.9
70 歳代	41.6	56.2	54.3 58.1	53.9	61.9	60.1 63.8	46.8	58.6	57.3 60.0
80 歳以上	17.2	36.9	33.3 40.5	24.0	38.3	35.5 41.1	20.8	37.6	35.4 39.9
UICC TNM 分類総合ステージ									
I 期	62.8	78.5	76.2 80.7	72.9	82.5	80.2 84.8	66.8	80.1	78.4 81.7
II 期	52.0	66.7	64.3 69.2	62.8	73.2	70.9 75.6	56.9	69.7	68.0 71.4
III 期	48.6	60.6	58.2 63.1	54.5	62.0	59.8 64.3	51.5	61.3	59.6 63.0
IV 期	9.6	11.4	10.1 12.8	9.1	9.8	8.5 11.1	9.3	10.7	9.7 11.7
不詳	13.0	15.1	8.4 21.8	9.0	10.8	5.3 16.4	11.1	13.3	8.8 17.8
観血的治療									
有	50.3	63.3	62.0 64.6	57.2	65.4	64.2 66.7	53.4	64.3	63.4 65.2
原発巣・治癒切除	54.7	68.9	67.5 70.3	62.0	71.0	69.7 72.3	58.0	69.8	68.9 70.8
原発巣・非治癒切除	13.1	15.8	13.3 18.2	13.6	15.2	12.6 17.8	13.3	15.5	13.7 17.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	37.3	46.0	38.6 53.4	47.8	54.2	46.3 62.2	41.9	49.6	44.1 55.1
無	5.1	6.4	4.9 8.0	3.3	3.8	2.6 5.0	4.3	5.2	4.2 6.3

直腸がん(直腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	316	14,397	7,161	96.6	67.3
I 期	316	3,892	1,198	95.8	67.8
II 期	313	3,381	1,389	96.1	68.4
III 期	312	4,178	1,998	96.7	66.5
IV 期	314	2,757	2,418	97.9	65.9

(1) 生存状況把握割合

対象数は、14,397 例、うち死亡数が 7,161 例、打ち切り数が 493 例で生存状況把握割合は 96.6%であった。

(2) 対象者の属性

男性が約 66%、女性が約 34%であり、平均年齢は、67.3 歳であった。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、III 期が約 29%であった。86.4%になんらかの観血的治療が実施されていた。

表 3-3③-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	9,315	100.0	5,082	100.0	14,397	100.0
拠点病院等	8,839	94.9	4,772	93.9	13,611	94.5
都道府県推薦病院	476	5.1	310	6.1	786	5.5
年齢						
平均年齢 (SD)	67.0 (10.9)		67.9 (12.5)		67.3 (11.5)	
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	145	1.6	110	2.2	255	1.8
40 歳代	448	4.8	322	6.3	770	5.3
50 歳代	1,545	16.6	816	16.1	2,361	16.4
60 歳代	3,177	34.1	1,427	28.1	4,604	32.0
70 歳代	2,854	30.6	1,459	28.7	4,313	30.0
80 歳以上	1,146	12.3	948	18.7	2,094	14.5
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	2,507	26.9	1,385	27.3	3,892	27.0
II 期	2,205	23.7	1,176	23.1	3,381	23.5
III 期	2,681	28.8	1,497	29.5	4,178	29.0
IV 期	1,798	19.3	959	18.9	2,757	19.1
不詳	124	1.3	65	1.3	189	1.3
観血的治療						
有	8,033	86.2	4,413	86.8	12,446	86.4
原発巣・治癒切除	7,115	76.4	3,913	77.0	11,028	76.6
原発巣・非治癒切除	716	7.7	381	7.5	1,097	7.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	202	2.2	119	2.3	321	2.2
無	1,282	13.8	669	13.2	1,951	13.6
発見経緯						
がん検診	834	9.0	406	8.0	1,240	8.6
健康診断・人間ドック	765	8.2	317	6.2	1,082	7.5
他疾患経過観察中	1,745	18.7	771	15.2	2,516	17.5
その他・不明	5,971	64.1	3,588	70.6	9,559	66.4

(3)10年生存率

表 3-3③-2 直腸に、属性別 10 年実測生存率とネット・サバイバルを示す。70 歳以上では実測生存率とネット・サバイバルの差が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I 期のネット・サバイバルは 81.0%であった。

表 3-3③-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	46.5	55.9	54.5	57.3	54.9	60.8	59.0	62.5	49.4	57.6	56.5	58.7
拠点病院等	46.5	55.9	54.4	57.3	55.0	60.9	59.1	62.7	49.5	57.6	56.5	58.8
都道府県推薦病院	46.4	56.2	49.5	63.0	52.4	58.8	51.6	66.0	48.7	57.3	52.3	62.3
年齢												
0-39 歳	62.4	63.5	55.4	71.6	65.5	65.8	56.5	75.2	64.0	64.5	58.3	70.6
40 歳代	58.7	60.0	55.0	64.9	69.1	69.9	64.7	75.2	63.2	64.3	60.7	67.9
50 歳代	60.3	63.7	61.0	66.5	69.5	71.3	67.8	74.7	63.5	66.4	64.2	68.5
60 歳代	53.9	60.9	58.9	63.0	66.6	70.0	67.4	72.7	57.9	63.7	62.1	65.4
70 歳代	40.5	54.0	51.5	56.5	51.6	59.4	56.3	62.5	44.2	55.8	53.8	57.8
80 歳以上	15.8	33.6	28.3	38.8	23.3	35.9	31.1	40.7	19.2	34.6	31.0	38.2
UICC TNM 分類総合ステージ												
I 期	64.9	78.9	76.1	81.7	75.9	84.7	81.6	87.7	68.8	81.0	78.9	83.1
II 期	56.2	67.4	64.4	70.5	61.8	69.1	65.4	72.9	58.1	68.0	65.6	70.4
III 期	48.4	57.5	55.0	60.1	57.4	62.8	59.7	65.9	51.6	59.4	57.5	61.4
IV 期	9.0	10.5	8.8	12.1	13.8	14.8	12.3	17.2	10.7	12.0	10.6	13.4
不詳	11.5	15.8	7.6	24.1	19.0	20.6	8.9	32.3	14.0	17.4	10.5	24.2
観血的治療												
有	52.6	63.2	61.6	64.7	61.7	68.3	66.5	70.1	55.8	65.0	63.8	66.2
原発巣・治癒切除	56.4	67.8	66.2	69.4	65.6	72.6	70.7	74.5	59.6	69.5	68.2	70.8
原発巣・非治癒切除	19.4	22.7	19.0	26.4	24.3	27.1	22.0	32.1	21.1	24.2	21.2	27.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	40.9	47.7	38.8	56.6	53.5	59.5	48.6	70.4	45.5	52.1	45.1	59.0
無	7.7	9.6	7.6	11.5	8.6	9.4	6.6	12.2	8.0	9.5	7.9	11.2

4. 肝細胞がん(肝細胞癌)・肝内胆管がん(肝内胆管癌)

肝細胞がん(肝細胞癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	308	13,910	11,322	97.9	70.3
I期	308	5,997	4,362	97.4	70.7
II期	308	4,238	3,527	98.2	70.1
III期	303	2,611	2,404	98.3	70.1
IV期	270	809	791	98.6	67.9

(1) 生存状況把握割合

対象者は、13,910例で、そのうち10年以内に死亡していたのは11,322例、打ち切りが295例であった。全体として、生存状況把握割合は97.9%であった。

男性が約70%を占めた。年代をみると、70歳代が最も多く男性で約38%、女性は約47%を占めた。UICC TNM総合ステージ別にみると、全体でI期が約43%、II期が約31%、III期が約19%となっていた。25.0%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が67.8%を占めた。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-4①-1に示す。性別にみると、

表3-4①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	9,682	100.0	4,228	100.0	13,910	100.0
拠点病院等	9,350	96.6	4,098	96.9	13,448	96.7
都道府県推薦病院	332	3.4	130	3.1	462	3.3
年齢						
平均年齢 (SD)	69.2 (9.8)		72.7 (9.3)		70.3 (9.8)	
0-14歳	(1-3)	0.0	(4-6)	0.1	(7-9)	0.1
15-39歳	47	0.5	18	0.4	65	0.5
40歳代	263	2.7	51	1.2	314	2.3
50歳代	1,233	12.7	254	6.0	1,487	10.7
60歳代	3,095	32.0	982	23.2	4,077	29.3
70歳代	3,692	38.1	2,001	47.3	5,693	40.9
80歳以上	1,350	13.9	917	21.7	2,267	16.3
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	3,842	39.7	2,155	51.0	5,997	43.1
II期	2,928	30.2	1,310	31.0	4,238	30.5
III期	2,083	21.5	528	12.5	2,611	18.8
IV期	640	6.6	169	4.0	809	5.8
不詳	189	2.0	66	1.6	255	1.8
取扱い規約治療前ステージ						
I期	1,912	19.7	1,288	30.5	3,200	23.0
II期	3,443	35.6	1,621	38.3	5,064	36.4
III期	2,344	24.2	770	18.2	3,114	22.4
IV期	1,613	16.7	410	9.7	2,023	14.5
不詳	269	2.8	92	2.2	361	2.6
空欄他	101	1.0	47	1.1	148	1.1
観血的治療						
有	2,655	27.4	827	19.6	3,482	25.0
原発巣・治癒切除	2,396	24.7	756	17.9	3,152	22.7
原発巣・非治癒切除	145	1.5	45	1.1	190	1.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	114	1.2	26	0.6	140	1.0
無	7,027	72.6	3,401	80.4	10,428	75.0
発見経緯						
がん検診	60	0.6	(7-9)	0.2	68	0.5
健康診断・人間ドック	351	3.6	71	1.7	422	3.0
他疾患経過観察中	6,310	65.2	3,118	73.7	9,428	67.8
その他・不明	2,961	30.6	1,031	24.4	3,992	28.7

(3)10年生存率

10年生存率を表3-4①-2に示す。全体として、ネット・サバイバルは男性21.1%、女性20.9%であった。他の部位と比較して、80歳以上を除き年代による実測生存率とネット・サバイバルの差はやや小さくなっており、予後があまり良くないことを示唆している。UICC TNM 分類別にみると、I期ではネット・サバイバルは全体で30.5%である。観血的治療を受けたものの割合は35%であるが、観血的治療を受けたもののネット・サバイバルは41.4%であった。

表3-4①-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	16.7	21.1	19.2	21.1	18.8	20.9	19.5	22.3	17.3	20.4	19.6	21.2
拠点病院等	16.8	20.2	19.3	21.2	19.0	21.1	19.7	22.6	17.4	20.5	19.7	21.3
都道府県推薦病院	14.3	16.7	11.5	22.0	12.3	13.1	6.5	19.7	13.7	15.7	22.5	19.9
年齢												
0-39歳	34.6	35.0	21.5	48.4	52.2	52.3	32.5	72.2	40.3	40.6	29.2	52.1
40歳代	29.7	30.4	24.6	36.2	59.9	60.4	46.8	74.0	34.7	35.4	29.9	40.8
50歳代	26.9	28.5	25.8	31.2	38.5	39.5	33.3	45.7	28.9	30.4	27.9	32.9
60歳代	20.6	23.3	21.7	25.0	29.6	31.1	28.1	34.2	22.8	25.2	23.7	26.7
70歳代	13.3	18.0	16.5	19.5	15.3	17.5	15.7	19.4	14.0	17.8	16.6	19.0
80歳以上	4.2	8.3	6.1	10.6	5.7	8.7	6.3	11.2	4.8	8.5	6.8	10.2
UICC TNM 分類総合ステージ												
I期	25.8	31.3	29.5	33.1	26.1	29.2	27.0	31.4	25.9	30.5	29.1	31.9
II期	15.8	18.8	17.1	20.5	14.9	16.5	14.2	18.8	15.5	18.1	16.7	19.5
III期	7.0	8.5	7.1	9.9	5.4	5.8	3.6	8.0	6.7	8.0	6.7	9.2
IV期	1.3	1.5	0.4	2.5	-	-			1.0	1.2	0.3	2.0
不詳	3.4	4.4	1.1	7.8	8.1	9.2	1.7	16.7	4.6	5.7	2.4	8.9
取扱い規約治療前ステージ												
I期	26.8	31.7	29.1	34.2	29.8	32.9	30.0	35.9	28.0	32.2	30.2	34.1
II期	21.4	26.2	24.4	28.0	19.0	21.4	19.1	23.6	20.6	24.6	23.2	26.1
III期	10.8	12.9	11.3	14.6	8.8	9.7	7.3	12.2	10.3	12.2	10.8	13.5
IV期	4.2	5.0	3.8	6.2	2.2	2.4	0.8	4.0	3.8	4.5	3.5	5.5
不詳	8.4	9.9	5.6	14.3	13.8	15.6	7.4	23.8	9.8	11.4	7.5	15.3
観血的治療												
有	34.6	41.8	39.4	44.1	36.4	40.2	36.4	44.0	35.0	41.4	39.4	43.4
原発巣・治癒切除	36.3	43.9	41.4	46.4	38.2	42.1	38.1	46.2	36.8	43.5	41.3	45.6
原発巣・非治癒切除	15.5	18.9	11.7	26.1	11.4	12.0	2.4	21.6	14.5	17.3	11.3	23.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	23.3	27.3	17.8	36.8	29.0	32.5	13.1	51.9	24.3	28.3	19.7	36.9
無	9.9	11.9	11.0	12.9	14.5	16.2	14.8	17.6	11.4	13.3	12.5	14.1

肝内胆管がん(肝内胆管癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	232	1,737	1,541	97.8	70.3
I 期	147	255	164	96.5	72.3
II 期	143	230	180	98.3	71.5
III 期	232	619	577	97.4	70.0
IV 期	226	546	535	98.4	68.8

(1) 生存状況把握割合

対象者は、1,737 例で、そのうち 10 年以内に死亡していたのは、1,541 例、打ち切りが 39 例であった。全体として、生存状況把握割合は 97.8%であった。

男性が約 61%を占めた。年代をみると、70 歳代が最も多く男性で約 39%、女性は約 38%を占めた。UICC TNM 総合ステージ別にみると、全体で I 期が約 15%、II 期が約 13%、III 期が約 36%、IV 期が約 31%であった。34.0%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が約 39%を占めた。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-4②-1 に示す。性別にみると、

表 3-4②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,064	100.0	673	100.0	1,737	100.0
拠点病院等	1,028	96.6	651	96.7	1,679	96.7
都道府県推薦病院	36	3.4	22	3.3	58	3.3
年齢		0.0		0.0	0	0.0
平均年齢 (SD)	69.7(10.4)		71.3(11.6)		70.3(10.9)	
0-14 歳	0	0.0	(1-3)	0.2	(1-3)	0.0
15-39 歳	12	1.1	(7-9)	1.0	19	1.1
40 歳代	30	2.8	20	3.0	50	2.9
50 歳代	116	10.9	66	9.8	182	10.5
60 歳代	320	30.1	163	24.2	483	27.8
70 歳代	411	38.6	253	37.6	664	38.2
80 歳以上	175	16.4	163	24.2	338	19.5
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	165	15.5	90	13.4	255	14.7
II 期	146	13.7	84	12.5	230	13.2
III 期	357	33.6	262	38.9	619	35.6
IV 期	345	32.4	201	29.9	546	31.4
不詳	51	4.8	36	5.3	87	5.0
取扱い規約治療前ステージ						
I 期	72	6.8	39	5.8	111	6.4
II 期	173	16.3	95	14.1	268	15.4
III 期	154	14.5	97	14.4	251	14.5
IV 期	524	49.2	338	50.2	862	49.6
不詳	89	8.4	65	9.7	154	8.9
空欄	51	4.8	39	5.8	90	5.2
観血的治療						
有	375	35.2	216	32.1	591	34.0
原発巣・治癒切除	310	29.1	179	26.6	489	28.2
原発巣・非治癒切除	47	4.4	37	5.5	84	4.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	18	1.7	(4-6)	0.7	23	1.3
無	689	64.8	452	67.2	1,141	65.7
発見経緯						
がん検診	13	1.2	(4-6)	0.6	17	1.0
健康診断・人間ドック	63	5.9	42	6.2	105	6.0
他疾患経過観察中	425	39.9	254	37.7	679	39.1
その他・不明	563	52.9	373	55.4	936	53.9

(3)10年生存率

10年生存率を表3-4②-2に示す。全体として、ネット・サバイバルは全体で約12%であった。UICC TNM分類別に見ると、I期ではネット・サバイバルは全体で約44%である。観血的治療を受けたものの割合は34%であるが、観血的治療を受けたもののネット・サバイバルは約33%であった。

表3-4②-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	9.8	13.1	10.6	15.6	9.3	10.2	7.6	12.7	9.6	12.0	10.1	13.8
拠点病院等	10.1	13.5	10.9	16.0	9.5	10.4	7.8	13.0	9.8	12.3	10.4	14.1
都道府県推薦病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢												
0-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50歳代	11.8	12.3	6.0	18.7	13.1	13.4	5.1	21.8	12.3	12.8	7.9	17.9
60歳代	11.5	13.1	9.0	17.2	12.7	13.4	7.9	18.9	11.9	13.2	9.9	16.5
70歳代	9.2	12.9	8.9	16.9	10.2	11.6	7.2	16.0	9.6	12.4	9.4	15.4
80歳以上	7.2	13.1	5.9	20.2	2.0	2.8	0.0	5.8	4.7	8.9	4.5	13.3
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	34.0	46.1	35.4	56.8	36.4	40.1	28.8	51.5	34.9	44.1	36.1	52.0
II期	20.8	26.8	17.7	35.9	20.9	23.1	13.2	32.9	20.8	25.3	18.5	32.2
III期	4.8	5.8	3.0	8.5	3.7	4.0	1.5	6.5	4.3	5.0	3.1	6.9
IV期	0.3	0.4	0.0	1.0	0.5	0.7	0.0	1.9	0.4	0.5	0.0	1.2
不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取扱い規約治療前ステージ												
I期	32.9	48.8	32.8	64.8	31.9	36.9	19.6	54.1	32.6	44.8	32.7	56.8
II期	26.3	34.1	24.8	43.5	25.4	28.1	17.9	38.2	26.0	31.8	24.8	38.9
III期	7.8	10.1	4.2	15.9	6.6	7.0	1.7	12.3	7.3	8.8	4.7	12.9
IV期	1.2	1.5	0.3	2.6	2.5	2.6	0.7	4.6	1.7	1.9	0.9	3.0
不詳	8.4	10.4	3.1	17.8	7.9	8.3	1.6	15.0	8.2	9.5	4.4	14.6
観血的治療												
有	26.3	35.3	29.0	41.5	26.5	29.1	22.4	35.8	26.4	33.0	28.4	37.7
原発巣・治癒切除	29.6	38.8	31.7	45.8	29.7	32.6	24.9	40.3	29.6	36.5	31.2	41.8
原発巣・非治癒切除	13.0	20.9	7.3	34.4	7.8	8.6	0.0	17.7	11.0	15.7	6.9	24.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無	0.7	0.9	0.0	1.7	0.7	0.7	0.0	1.5	0.7	0.8	0.2	1.4

5. 小細胞肺がん(小細胞肺癌)・非小細胞肺がん(非小細胞肺癌)

小細胞肺がん(小細胞肺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	289	3,829	3,568	98.0	70.2
I期	161	290	225	96.2	72.2
II期	131	232	207	98.7	69.8
III期	285	1,371	1,246	97.7	69.9
IV期	289	1,904	1,859	98.4	70.1

(1) 生存状況把握割合

対象者は、3,829例で、そのうち10年以内に死亡していた者は、3,568例、打ち切りが77例で、全体として生存状況把握割合は98.0%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-5①-1に示す。対象者は、男性が82.2%を占め、70歳代が最も多かった。UICC

TNM分類総合ステージ別にみると、全体としてIV期が約50%、次いでIII期が約36%であった。病期分布は男女別にみてもほぼ同様であった。観血的治療実施を受けた者の割合は、非小細胞肺癌と比較して低く、約8%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約28%であった。

表3-5①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	3,148	100.0	681	100.0	3,829	100.0
拠点病院等	3,079	97.8	661	97.1	3,740	97.7
都道府県推薦病院	69	2.2	20	2.9	89	2.3
年齢						
平均年齢 (SD)	70.2 (8.9)		70.0 (9.4)		70.2 (9.0)	
0-14歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39歳	(4-6)	0.2	(1-3)	0.3	(7-9)	0.2
40歳代	52	1.7	10	1.5	62	1.6
50歳代	298	9.5	69	10.1	367	9.6
60歳代	1,060	33.7	248	36.4	1,308	34.2
70歳代	1,252	39.8	246	36.1	1,498	39.1
80歳以上	480	15.2	106	15.6	586	15.3
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	243	7.7	47	6.9	290	7.6
II期	197	6.3	35	5.1	232	6.1
III期	1,106	35.1	265	38.9	1,371	35.8
IV期	1,575	50.0	329	48.3	1,904	49.7
不詳	27	0.9	(4-6)	0.7	32	0.8
観血的治療						
有	256	8.1	40	5.9	296	7.7
原発巣・治癒切除	234	7.4	40	5.9	274	7.2
原発巣・非治癒切除	22	0.7	(1-3)	0.4	25	0.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	(4-6)	0.2	0	0.0	(4-6)	0.1
無	2,887	91.7	638	93.7	3,525	92.1
発見経緯						
がん検診	142	4.5	29	4.3	171	4.5
健康診断・人間ドック	278	8.8	48	7.0	326	8.5
他疾患経過観察中	895	28.4	181	26.6	1,076	28.1
その他・不明	1,833	58.2	423	62.1	2,256	58.9

(3)10年生存率

10年生存率を表3-5①-2に示す。全体での10年ネット・サバイバルは、IV期が半数近くを占めることから低く約6%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期ではネット・サバイバルが22.8%であった。観血的治療を受けた者の割合は少ないが、ネット・サバイバルは27%であった。

表3-5①-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	4.7	5.5	4.6	6.4	6.5	7.0	5.0	9.1	5.0	5.8	4.9	6.6
拠点病院等	4.7	5.5	4.6	6.5	6.7	7.2	5.1	9.4	5.1	5.9	5.0	6.7
都道府県推薦病院	-	-			-	-			2.4	2.7	0.0	6.2
年齢												
0-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	5.5	5.6	0.0	11.9	-	-			4.6	4.7	0.0	10.3
50歳代	8.9	9.4	6.0	12.9	14.9	15.2	6.5	23.9	10.1	10.6	7.2	13.9
60歳代	7.7	8.7	6.8	10.6	9.4	9.9	6.0	13.8	8.0	8.9	7.2	10.6
70歳代	2.7	3.6	2.4	4.9	3.4	4.0	1.4	6.6	2.8	3.7	2.6	4.8
80歳以上	0.2	0.5	0.0	1.3	2.1	2.3	0.0	5.2	0.5	0.9	0.0	2.0
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	17.7	21.3	14.7	27.9	27.3	30.4	15.9	44.8	19.3	22.8	16.7	28.9
II期	9.8	11.6	6.2	17.0	6.1	6.4	0.0	14.0	9.2	10.8	6.0	15.6
III期	6.7	7.7	5.9	9.5	10.1	10.7	6.7	14.8	7.4	8.3	6.6	9.9
IV期	0.8	0.9	0.3	1.4	1.0	1.0	0.0	2.1	0.8	0.9	0.4	1.4
不詳	-	-			-	-			-	-		
観血的治療												
有	21.5	25.5	18.9	32.2	33.3	35.9	20.3	51.4	23.2	27.0	20.8	33.2
原発巣・治癒切除	23.3	27.6	20.4	34.8	36.1	38.9	22.4	55.4	25.1	29.4	22.6	35.9
原発巣・非治癒切除	-	-			-	-			-	-		
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-			-	-			-	-		
無	3.2	3.8	2.9	4.6	4.7	5.1	3.3	7.0	3.5	4.0	3.3	4.8

非小細胞肺がん(非小細胞肺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	314	38,593	28,055	97.8	70.2
I期	306	15,378	7,067	97.0	70.4
II期	294	2,559	1,902	97.5	70.5
III期	311	8,744	7,694	98.5	70.2
IV期	314	11,214	10,819	98.3	69.6

(1) 生存状況把握割合

対象者は、38,593例で、そのうち10年以内に死亡していた者は、28,055例、打ち切りが854例で、全体として生存状況把握割合は97.8%であった。

TNM分類総合ステージ別にみると、全体としてI期が約40%、次いでIV期が約29%であった。病期分布に女性でI期の割合が男性より多かった。観血的治療実施を受けた者の割合は、45.0%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約36%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-5②-1に示す。対象者は、男性が67.3%を占め、70歳代が最も多かった。UICC

表3-5②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	25,985	100.0	12,608	100.0	38,593	100.0
拠点病院等	25,353	97.6	12,310	97.6	37,663	97.6
都道府県推薦病院	632	2.4	298	2.4	930	2.4
年齢		0.0		0.0	0	0.0
平均年齢 (SD)	70.6 (10.0)		69.4 (10.9)		70.2 (10.3)	
0-14歳	(1-3)	0.0	(1-3)	0.0	(1-3)	0.0
15-39歳	140	0.5	139	1.1	279	0.7
40歳代	623	2.4	438	3.5	1,061	2.7
50歳代	2,549	9.8	1,515	12.0	4,064	10.5
60歳代	7,850	30.2	3,856	30.6	11,706	30.3
70歳代	9,767	37.6	4,404	34.9	14,171	36.7
80歳以上	5,055	19.5	2,255	17.9	7,310	18.9
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	9,141	35.2	6,237	49.5	15,378	39.8
II期	2,014	7.8	545	4.3	2,559	6.6
III期	6,643	25.6	2,101	16.7	8,744	22.7
IV期	7,700	29.6	3,514	27.9	11,214	29.1
不詳	487	1.9	211	1.7	698	1.8
観血的治療						
有	10,495	40.4	6,881	54.6	17,376	45.0
原発巣・治癒切除	9,683	37.3	6,556	52.0	16,239	42.1
原発巣・非治癒切除	491	1.9	181	1.4	672	1.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	321	1.2	144	1.1	465	1.2
無	15,490	59.6	5,727	45.4	21,217	55.0
発見経緯						
がん検診	1,700	6.5	1,235	9.8	2,935	7.6
健康診断・人間ドック	3,204	12.3	1,827	14.5	5,031	13.0
他疾患経過観察中	9,392	36.1	4,552	36.1	13,944	36.1
その他・不明	11,689	45.0	4,994	39.6	16,683	43.2

(3)10年生存率

10年生存率を表3-5②-2に示す。全体での10年ネット・サバイバルは、男性が23.9%、女性が45.2%と女性でやや高かった。UICC TNM分類総合ステージ別にみても、男性より女性でネット・サバイバルがやや高い傾向にあった。観血的治療を受けた者(原発巣・治癒切除)ではネット・サバイバルは男性で54.1%、女性で77.6%となっていた。

表3-5②-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	19.5	23.9	23.2	24.5	40.9	45.2	44.2	46.2	26.5	30.8	30.3	31.4
拠点病院等	19.7	24.1	23.4	24.8	41.2	45.5	44.5	46.5	26.7	31.1	30.5	31.7
都道府県推薦病院	12.9	15.3	11.9	18.7	27.1	30.2	24.1	48.2	17.5	20.1	17.0	23.2
年齢												
0-39歳	46.4	46.9	38.5	55.2	55.7	56.0	47.5	64.5	51.0	51.4	45.4	57.4
40歳代	37.5	38.3	34.4	37.0	51.6	52.2	47.4	57.0	43.3	44.0	41.0	47.1
50歳代	34.0	36.0	34.0	38.0	51.7	53.0	50.4	55.6	40.6	42.4	40.8	44.0
60歳代	26.7	30.1	29.0	31.3	51.2	53.8	52.1	56.3	34.8	38.0	37.0	38.9
70歳代	15.9	21.3	20.3	22.3	39.1	44.8	43.2	46.5	23.1	28.6	27.8	29.5
80歳以上	4.9	10.4	9.1	11.8	15.9	23.2	20.8	25.7	8.3	14.4	13.2	15.6
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	41.3	51.3	49.8	52.7	71.3	78.9	77.6	80.3	53.5	62.5	61.4	63.5
II期	22.8	27.2	24.8	29.6	31.4	34.4	29.9	38.8	24.6	28.7	26.6	30.8
III期	9.7	11.3	10.4	12.2	15.7	17.2	15.5	19.0	11.2	12.7	11.9	13.5
IV期	1.3	1.6	1.3	1.9	3.4	3.6	2.9	4.3	2.0	2.2	1.9	2.5
不詳	11.5	13.2	9.3	17.1	27.3	29.7	22.5	36.8	16.3	18.3	14.7	21.8
観血的治療												
有	42.8	52.1	50.8	53.4	68.9	75.9	74.6	77.1	53.1	61.5	60.6	62.5
原発巣・治癒切除	44.5	54.1	52.8	55.5	70.5	77.6	76.3	78.9	55.0	64.6	62.6	64.6
原発巣・非治癒切除	19.0	22.8	18.5	27.1	26.9	29.1	21.9	36.2	21.1	24.5	20.8	28.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	29.5	34.9	28.6	41.1	48.6	54.4	45.2	63.5	35.4	41.0	35.7	46.2
無	3.5	4.5	4.0	4.9	6.6	7.6	6.8	8.4	4.3	5.3	4.9	5.7

6. 女性乳がん(女性乳癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	313	29,730	6,390	96.5	59.2
I 期	313	13,064	1,467	96.2	59.2
II 期	310	11,376	2,133	96.3	58.7
III 期	303	3,627	1,440	97.1	59.8
IV 期	292	1,487	1,249	98.6	60.2

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、29,730 例で、10 年以内に亡くなっていたのが 6,390 例、打ち切りが 1048 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 96.5 %であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-6-1 に示す。診断時の年齢をみると、60 歳代が最も多く、次いで 50、40 歳代であった。また、35 歳未満は、686 例であった(2.3%)。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期が最も多く約 44%、次いで II 期が約 38%であった。観血的治療の実施割合は、約 90%であった。発見経緯を見ると、大腸や肺と比較してがん検診がやや多かった。

(3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-6-2 に示す。全体として、ネット・サバイバルは 83.1%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期ではネット・サバイバルは 90%以上であるが、IV 期では約 16%にとどまった。なお、観血的治療を受けた者(原発巣・治癒切除)では、ネット・サバイバルは 89%であった。

表 3-6-1 対象者の属性

	対象数	(%)
全体	29,730	100.0
拠点病院等	28,692	96.5
都道府県推薦病院	1,038	3.5
年齢		
平均年齢 (SD)	59.2 (13.5)	
0-14 歳	0	0.0
15-39 歳	1,949	6.6
40 歳代	6,158	20.7
50 歳代	6,770	22.8
60 歳代	7,910	26.6
70 歳代	4,619	15.5
80 歳以上	2,324	7.8
35 歳未満 (再掲)	686	2.3
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	13,064	43.9
II 期	11,376	38.3
III 期	3,627	12.2
IV 期	1,487	5.0
不詳	176	0.6
観血的治療		
有	26,724	89.9
原発巣・治癒切除	24,399	82.1
原発巣・非治癒切除	1,190	4.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	1,135	3.8
無	3,006	10.1
発見経緯		
がん検診	6,876	23.1
健康診断・人間ドック	1,536	5.2
他疾患経過観察中	3,426	11.5
その他・不明	17,892	60.2

表 3-6-2 属性別 10 年生存率

	女性			
	実測	Net	95%信頼区間	
全体	78.3	83.1	82.5	83.6
拠点病院等	78.4	83.2	82.6	83.8
都道府県推薦病院	74.0	79.2	75.9	82.6
年齢				
0-39 歳	83.4	83.8	82.1	85.5
40 歳代	89.3	90.3	89.5	91.1
50 歳代	84.5	86.5	85.6	87.4
60 歳代	81.7	85.8	84.9	86.7
70 歳代	68.3	77.8	76.2	79.4
80 歳以上	33.4	53.0	49.5	56.6
35 歳未満 (再掲)	88.8	80.4	77.3	83.5
UICC TNM 総合ステージ				
I 期	88.6	94.1	93.4	94.8
II 期	81.0	85.8	84.9	86.7
III 期	60.0	63.7	61.9	65.5
IV 期	15.1	16.0	14.0	18.0
不詳	41.6	43.8	33.9	53.6
観血的治療				
有	83.2	88.2	87.7	88.7
原発巣・治癒切除	84.0	89.0	88.5	89.6
原発巣・非治癒切除	73.6	78.0	75.0	81.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	76.4	81.1	78.2	84.1
無	33.9	36.8	34.7	38.9

7. 食道がん(食道癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	302	11,103	8,043	97.9	68.3
I 期	289	3,376	1,623	97.6	68.4
II 期	297	2,173	1,521	97.7	68.9
III 期	298	2,904	2,471	98.1	68.1
IV 期	302	2,374	2,190	98.1	67.2

(1) 生存状況把握割合

集計対象 11,103 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 8,043 例、打ち切りが 238 例で、全体として生存状況把握割合は 97.9%であった。

性が 85.5%を占めた。年齢をみると、60 歳代が 38.2%、次いで 70 歳代が 33.5%と多かった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、III 期が 26.2%、IV 期が 21.4%であった。観血的治療は 46.6%に実施されていた。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-7-1 に示す。性別をみると、男

表 3-7-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	9,488	100.0	1,615	100.0	11,103	100.0
拠点病院等	9,304	98.1	1,578	97.7	10,882	98.0
都道府県推薦病院	184	1.9	37	2.3	221	2.0
年齢						
平均年齢 (SD)	68.3 (9.0)		68.6 (10.9)		68.3 (9.3)	
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	15	0.2	11	0.7	26	0.2
40 歳代	182	1.9	64	4.0	246	2.2
50 歳代	1,334	14.1	239	14.8	1,573	14.2
60 歳代	3,699	39.0	541	33.5	4,240	38.2
70 歳代	3,231	34.1	484	30.0	3,715	33.5
80 歳以上	1,027	10.8	276	17.1	1,303	11.7
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	2,924	30.8	452	28.0	3,376	30.4
II 期	1,824	19.2	349	21.6	2,173	19.6
III 期	2,461	25.9	443	27.4	2,904	26.2
IV 期	2,050	21.6	324	20.1	2,374	21.4
不詳	229	2.4	47	2.9	276	2.5
観血的治療						
有	4,403	46.4	771	47.7	5,174	46.6
原発巣・治癒切除	3,883	40.9	694	43.0	4,577	41.2
原発巣・非治癒切除	330	3.5	49	3.0	379	3.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	190	2.0	28	1.7	218	2.0
無	5,085	53.6	844	52.3	5,929	53.4
発見経緯						
がん検診	393	4.1	59	3.7	452	4.1
健康診断・人間ドック	797	8.4	74	4.6	871	7.8
他疾患経過観察中	2,269	23.9	328	20.3	2,597	23.4
その他・不明	6,029	63.5	1,154	71.5	7,183	64.7

(3)10年生存率

10年生存率を表3-7-2に示す。ネット・サバイバルは、男性が30.2%、女性が39.3%であった。I期では、61.2%であるが、II期では34.1%であった。観血的治療を受けたもののネット・サバイバルは、53.2%であった。

表3-7-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	25.2	30.2	29.0	31.3	35.7	39.3	36.6	42.0	26.7	31.5	30.4	32.5
拠点病院等	25.3	30.2	29.1	31.4	35.9	39.6	36.8	42.3	26.8	31.6	30.5	32.6
都道府県推薦病院	21.9	25.6	17.8	33.3	-	-			22.6	26.0	18.8	33.1
年齢												
0-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	38.0	38.8	31.4	46.2	43.7	44.2	31.7	56.8	39.5	40.2	33.8	46.6
50歳代	35.5	37.5	34.8	40.3	46.1	47.3	40.7	53.9	37.1	39.0	36.5	41.6
60歳代	30.0	33.9	32.2	35.6	45.4	47.7	43.2	52.1	32.0	35.7	34.1	37.3
70歳代	20.8	27.7	25.8	29.6	31.7	36.3	31.5	41.2	22.2	28.8	27.0	30.6
80歳以上	6.2	12.9	9.4	16.3	12.7	20.4	13.8	26.9	7.6	14.4	11.3	17.5
UICC TNM 分類総合ステージ												
I期	49.6	59.9	57.4	62.3	63.7	70.1	64.9	75.3	51.5	61.2	59.0	63.5
II期	26.9	32.0	29.4	34.6	41.1	45.1	39.1	51.1	29.2	34.1	31.7	36.5
III期	12.4	14.3	12.7	15.9	22.3	24.1	19.6	28.5	13.9	15.8	14.3	17.3
IV期	5.7	6.7	5.4	7.9	10.6	11.6	7.8	15.3	6.3	7.3	6.2	8.5
不詳	9.6	12.0	5.6	18.5	23.4	33.1	15.6	50.7	11.9	15.7	9.3	22.1
観血的治療												
有	43.7	51.8	50.0	53.7	56.0	60.7	56.7	64.7	45.6	53.2	51.4	54.9
原発巣・治癒切除	45.2	54.7	52.7	56.7	58.2	63.0	58.8	67.2	48.0	55.9	54.1	57.7
原発巣・非治癒切除	19.3	23.6	17.9	29.2	27.7	30.1	16.2	44.0	20.4	24.5	19.2	29.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	34.2	40.6	31.7	49.5	52.0	55.4	34.8	76.0	36.5	42.5	34.2	50.7
無	9.2	11.3	10.2	12.5	17.0	19.7	16.6	22.8	10.3	12.5	11.5	13.6

8. 膵臓がん(膵臓癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	314	10,663	10,019	98.5	70.3
I期	240	647	478	98.3	72.0
II期	294	2,543	2,283	98.5	70.4
III期	296	1,985	1,916	99.0	70.1
IV期	314	5,152	5,031	98.3	69.8

(1) 生存状況把握割合

集計対象 10,663 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 10,019 例、打ち切りが 161 例で、全体として生存状況把握割合は 98.5%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-8-1 に示す。男性が 55.4%、女性が 44.6%であった。年代は、70 歳以上が最も多く 35.6%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、IV期が最も多く約半数を占めた。

表 3-8-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	5,904	100.0	4,759	100.0	10,663	100.0
拠点病院等	5,666	96.0	4,569	96.0	10,235	96.0
都道府県推薦病院	238	4.0	190	4.0	428	4.0
年齢						
平均年齢 (SD)	69.1 (10.3)		71.7 (11.0)		70.3 (10.7)	
0-14 歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
15-39 歳	44	0.7	38	0.8	82	0.8
40 歳代	188	3.2	118	2.5	306	2.9
50 歳代	708	12.0	462	9.7	1,170	11.0
60 歳代	1,972	33.4	1,237	26.0	3,209	30.1
70 歳代	2,078	35.2	1,723	36.2	3,801	35.6
80 歳以上	913	15.5	1,180	24.8	2,093	19.6
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	347	5.9	300	6.3	647	6.1
II 期	1,395	23.6	1,148	24.1	2,543	23.8
III 期	1,102	18.7	883	18.6	1,985	18.6
IV 期	2,881	48.8	2,271	47.7	5,152	48.3
不詳	179	3.0	157	3.3	336	3.2
観血的治療						
有	1,680	28.5	1,344	28.2	2,467	28.4
原発巣・治癒切除	1,300	22.0	1,045	22.0	2,345	22.0
原発巣・非治癒切除	287	4.9	231	4.9	518	4.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	93	1.6	68	1.4	161	1.5
無	4,224	71.5	3,415	71.8	7,639	71.6
発見経緯						
がん検診	45	0.8	32	0.7	77	0.7
健康診断・人間ドック	257	4.4	149	3.1	406	3.8
他疾患経過観察中	1,772	30.0	1,257	26.4	3,029	28.4
その他・不明	3,830	64.9	3,321	69.8	7,151	67.1

(3)10年生存率

10年生存率を表3-8-2に示す。全体で見ると、IV期が約半数を占めることからネット・サバイバルは5.4%と低かった。UICC TNM分類総合ステージI期では、ネット・サバイバルは28.6%であった。

表3-8-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	4.2	5.0	4.4	5.7	5.3	5.8	5.1	6.5	4.7	5.4	4.9	5.9
拠点病院等	4.3	5.1	4.5	5.8	5.4	5.9	5.1	6.6	4.8	5.5	5.0	6.0
都道府県推薦病院	2.1	2.3	0.2	4.5	3.2	3.7	0.9	6.6	2.6	2.9	1.2	4.7
年齢												
0-39歳	26.9	27.0	13.2	40.9	27.6	27.6	13.3	41.8	26.9	27.1	17.0	37.2
40歳代	10.7	10.9	6.3	15.5	12.5	12.6	6.6	18.7	11.4	11.6	7.9	15.3
50歳代	6.6	6.9	5.0	8.9	7.5	7.7	5.2	10.2	6.9	7.2	5.7	8.8
60歳代	4.7	5.3	4.3	6.4	7.6	8.0	6.4	9.6	5.8	6.4	5.5	7.3
70歳代	3.8	5.1	4.0	6.3	4.6	5.2	4.1	6.4	4.1	5.2	4.4	6.0
80歳以上	0.2	0.5	0.0	1.0	1.4	2.1	1.1	3.1	0.9	1.4	0.7	2.0
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	20.8	24.6	19.1	30.1	30.1	33.5	27.4	39.6	25.0	28.6	24.5	32.8
II期	8.2	9.8	8.0	11.7	9.8	10.9	8.9	12.9	8.9	10.3	9.0	11.7
III期	2.8	3.3	2.1	4.4	2.1	2.3	1.2	3.3	2.5	2.8	2.0	3.6
IV期	0.6	0.8	0.4	1.1	0.8	0.9	0.5	1.3	0.7	0.8	0.5	1.1
不詳	6.3	6.7	2.8	10.6	6.2	6.5	2.4	10.6	6.2	6.8	3.9	9.7
観血的治療												
有	13.0	15.4	13.4	17.4	17.4	19.2	16.9	21.5	15.0	17.1	15.6	18.6
原発巣・治癒切除	15.4	18.1	15.7	20.6	20.3	22.4	19.6	25.2	17.5	20.0	18.2	21.9
原発巣・非治癒切除	1.9	2.3	0.4	4.1	5.5	5.9	2.7	9.1	3.5	3.9	2.1	5.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	13.7	16.5	7.2	25.7	12.2	13.5	4.9	22.2	13.1	15.2	8.6	21.8
無	0.7	0.8	0.5	1.1	0.4	0.5	0.2	0.7	0.6	0.7	0.4	0.9

9. 子宮頸がん(子宮頸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	267	6,210	2,040	94.4	53.7
I 期	267	2,899	291	92.2	48.1
II 期	204	1,011	392	95.9	59.2
III 期	221	1,486	715	96.0	56.8
IV 期	204	747	610	97.1	61.4

(1) 生存状況把握割合

集計対象は 6,210 例で、10 年以内に亡くなっていたのが 2,040 例、打ち切りが 350 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 94.4%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-9-1 に示す。年例を見ると、40 歳未満の若い世代が多い傾向にあった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 46.7%で最も多く、次いでⅢ期が 23.9%、Ⅱ期が 16.3%であった。観血的治療の実施割合は 58.8%であった。発見経緯を見ると、がん検診が 17.6%であった。

表 3-9-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	6,210	100.0
拠点病院等	6,133	98.8
都道府県推薦病院	77	1.2
年齢		
平均年齢 (SD)	53.7(16.1)	
0-14 歳	0	0.0
15-39 歳	1,403	22.6
40 歳代	1,422	22.9
50 歳代	1,108	17.8
60 歳代	1,112	17.9
70 歳代	682	11.0
80 歳以上	483	7.8
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	2,899	46.7
II 期	1,011	16.3
III 期	1,486	23.9
IV 期	747	12.0
不詳	67	1.1
観血的治療		
有	3,651	58.8
原発巣・治癒切除	3,220	51.9
原発巣・非治癒切除	283	4.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	148	2.4
無	2,559	41.2
発見経緯		
がん検診	1,095	17.6
健康診断・人間ドック	198	3.2
他疾患経過観察中	589	9.5
その他・不明	4,328	69.7

(3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-9-2 に示す。実測生存率が約 65.7%、ネット・サバイバルが 68.1%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にネット・サバイバルをみると、I 期が 91.9%、II 期が 62.5%、III 期が 53.1%、IV 期が 18.6%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは 86.7%であり、そのうち原発巣・治癒切除例では 88.5%であった。

表 3-9-2 属性別 10 年生存率

	女性			
	実測	Net	95%信頼区間	
全体	65.7	68.1	66.6	69.5
拠点病院等	65.7	68.1	66.6	69.5
都道府県推薦病院	65.0	67.1	54.7	79.6
年齢				
0-39 歳	85.5	85.9	83.8	88.0
40 歳代	76.7	77.5	75.0	80.0
50 歳代	66.4	68.0	64.8	71.1
60 歳代	62.5	65.6	62.3	68.9
70 歳代	46.6	52.7	48.0	57.5
80 歳以上	12.4	18.8	13.4	24.2
UICC TNM 分類総合ステージ				
I 期	89.5	91.9	90.5	93.3
II 期	59.7	62.5	58.7	66.2
III 期	50.6	53.1	50.0	56.2
IV 期	17.5	18.6	15.4	21.8
不詳	52.0	54.7	37.1	72.2
観血的治療				
有	84.9	86.7	85.4	88.1
原発巣・治癒切除	86.7	88.5	87.1	89.9
原発巣・非治癒切除	67.4	68.6	61.9	75.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	77.9	79.9	72.5	87.3
無	39.5	42.5	40.1	44.9

10. 子宮体がん(子宮体癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	277	6,212	1,505	96.2	59.9
I 期	277	3,953	486	96.0	59.4
II 期	193	528	107	95.1	59.1
III 期	235	1,110	426	97.3	60.0
IV 期	192	522	436	97.9	63.5

(1) 生存状況把握割合

集計対象は 6,212 例で、10 年以内に亡くなっていたのが 1,505 例、打ち切りが 238 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 96.2%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-10-1 に示す。年代を見ると、50 歳代が最も多く 30.6%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 63.6%を占めた。

表 3-10-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	6,212	100.0
拠点病院等	6,070	97.7
都道府県推薦病院	142	2.3
年齢		
平均年齢 (SD)	59.9 (12.2)	
0-14 歳	0	0.0
15-39 歳	320	5.2
40 歳代	850	13.7
50 歳代	1,902	30.6
60 歳代	1,805	29.1
70 歳代	946	15.2
80 歳以上	389	6.3
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	3,953	63.6
II 期	528	8.5
III 期	1,110	17.9
IV 期	522	8.4
不詳	99	1.6
観血的治療		
有	5,629	90.6
原発巣・治癒切除	5,010	80.7
原発巣・非治癒切除	276	4.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	343	5.5
無	583	9.4
発見経緯		
がん検診	514	8.3
健康診断・人間ドック	124	2.0
他疾患経過観察中	834	13.4
その他・不明	4,740	76.3

(3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-10-2 に示す。ネット・サバイバルは、79.3%であり、UICC TNM 分類総合ステージ I 期では 92%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは、84.9%であり、原発巣・治癒切除例では 87.8%であった。

表 3-10-2 属性別 10 年生存率

	全体			
	実測	Net	95%信頼区間	
全体	75.3	79.3	78.1	80.6
拠点病院等	75.3	79.2	78.0	80.5
都道府県推薦病院	78.2	82.5	73.4	91.6
年齢				
0-39 歳	90.2	90.7	87.2	94.1
40 歳代	87.8	88.8	86.4	91.1
50 歳代	85.0	87.1	85.3	88.8
60 歳代	75.9	79.6	77.4	81.7
70 歳代	58.0	66.0	62.1	69.8
80 歳以上	26.4	41.0	33.1	48.9
UICC TNM 総合ステージ				
I 期	87.3	92.0	90.8	93.3
II 期	79.6	84.4	80.2	88.5
III 期	61.3	63.8	60.6	67.0
IV 期	15.8	16.7	13.2	20.1
不詳	35.3	36.7	23.5	49.9
観血的治療				
有	80.6	84.9	83.7	86.1
原発巣・治癒切除	83.4	87.8	86.6	89.0
原発巣・非治癒切除	37.5	39.9	33.5	46.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	75.9	79.4	74.3	84.6
無	22.1	23.1	18.9	27.2

11. 前立腺がん(前立腺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	304	28,023	9,326	97.0	71.3
I 期	142	599	181	96.5	72.1
II 期	304	18,476	4,671	96.8	70.8
III 期	291	4,335	1,301	97.0	71.0
IV 期	304	4,103	2,906	98.0	73.5

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、28,023 例で、10 年以内に亡くなっていたのが 9,326 例、打ち切りが 829 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 97.0%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-11-1 に示す。年代を見ると、70 歳代が最も多く 45.5%、80 歳以上が 14.6%で、70 歳以上が 6 割を占めた。UICC TNM 分類総合ステージをみると、II 期が最も多く 65.9%を占めた。観血的治療の実施割合は、28.6%であった。発見経緯を見ると、がん検診が約 17%、健康診断・人間ドックが約 12%であった。

表 3-11-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	28,023	100.0
拠点病院等	27,320	97.5
都道府県推薦病院	703	2.5
年齢		
平均年齢 (SD)	71.3 (7.8)	
0-14 歳	0	0.0
15-39 歳	(1-3)	
40 歳代	82	0.3
50 歳代	1,701	6.1
60 歳代	9,413	33.6
70 歳代	12,746	45.5
80 歳以上	4,079	14.6
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	599	2.1
II 期	18,476	65.9
III 期	4,335	15.5
IV 期	4,103	14.6
不詳	510	1.8
観血的治療		
有	8,021	28.6
原発巣・治癒切除	6,723	24.0
原発巣・非治癒切除	892	3.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	406	1.4
無	20,002	71.4
発見経緯		
がん検診	4,682	16.7
健康診断・人間ドック	3,247	11.6
他疾患経過観察中	9,731	34.7
その他・不明	10,363	37.0

(3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-11-2 に示す。全体のネット・サバイバルは、84.3%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期からIII期では、ネット・サバイバルは I 期 90.6%、II 期 94.4%、III期 87.2%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは、治癒切除、非治癒切除例に関わらずほぼ 100%であった。

表 3-11-2 属性別 10 年生存率

	全体			
	実測	Net	95%信頼区間	
全体	66.3	84.3	83.5	85.1
拠点病院等	66.5	84.4	83.6	85.3
都道府県推薦病院	59.8	79.2	73.5	84.9
年齢				
0-39 歳	-	-		
40 歳代	79.2	81.1	72.2	90.1
50 歳代	88.6	84.1	92.5	95.7
60 歳代	82.9	94.3	93.4	95.2
70 歳代	64.1	85.8	84.7	87.0
80 歳以上	24.6	51.7	48.5	54.9
UICC TNM 総合ステージ				
I 期	69.8	90.6	84.8	96.4
II 期	74.4	94.4	93.5	95.4
III 期	69.5	87.2	85.1	89.4
IV 期	28.3	36.9	34.9	39.0
不詳	47.3	65.2	57.4	72.9
観血的治療				
有	86.0	100.0	100.0	100.0
原発巣・治癒切除	86.7	100.0	100.0	100.0
原発巣・非治癒切除	83.6	98.5	95.3	100.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	81.2	97.8	93.0	100.0
無	58.4	77.3	76.3	78.4

12. 膀胱がん(膀胱癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	294	7,097	4,193	97.2	72.8
I 期	294	3,977	1,893	96.8	72.2
II 期	282	1,307	842	97.7	73.8
III 期	252	714	534	97.2	73.2
IV 期	257	842	740	98.2	72.0

(1) 生存状況把握割合

集計対象 7,097 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 4,193 例、打ち切りが 201 例で、全体として生存状況把握割合は 97.2%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-12-1 に示す。性別をみると、男性が 76.7%を占めた。年齢をみると、70 歳代が最も多く 35.0%、次いで 80 歳以上が 29.5%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 56.0%を占めた。観血的治療は 86.3%で実施されていた。

表 3-12-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	5,443	100.0	1,654	100.0	7,097	100.0
拠点病院等	5,287	97.1	1,610	97.3	6,897	97.2
都道府県推薦病院	156	2.9	44	2.7	200	2.8
年齢						
平均年齢 (SD)	72.1 (10.6)		75.0 (11.2)		72.8 (10.8)	
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	35	0.6	11	0.7	46	0.6
40 歳代	118	2.2	31	1.9	149	2.1
50 歳代	493	9.1	105	6.3	598	8.4
60 歳代	1,409	25.9	319	19.3	1,728	24.3
70 歳代	1,934	35.5	551	33.3	2,485	35.0
80 歳以上	1,454	26.7	637	38.5	2,091	29.5
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	3,151	57.9	826	49.9	3,977	56.0
II 期	983	18.1	324	19.6	1,307	18.4
III 期	529	9.7	185	11.2	714	10.1
IV 期	592	10.9	250	15.1	842	11.9
不詳	188	3.5	69	4.2	257	3.6
観血的治療						
有	4,769	87.6	1,359	82.2	6,128	86.3
原発巣・治癒切除	3,680	67.6	1,004	60.7	4,684	66.0
原発巣・非治癒切除	637	11.7	217	13.1	854	12.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	452	8.3	138	8.3	590	8.3
無	674	12.4	295	17.8	969	13.7
発見経緯						
がん検診	38	0.7	11	0.7	49	0.7
健康診断・人間ドック	158	2.9	26	1.6	184	2.6
他疾患経過観察中	1,316	24.2	394	23.8	1,710	24.1
その他・不明	3,931	72.2	1,223	73.9	5,154	72.6

(3)10年生存率

10年生存率を表3-12-2に示す。ネット・サバイバルは、全体で50.1%であった。70歳以上では、実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、I期が64.8%、II期が43.4%であった。観血的治療有の者のネット・サバイバルは55.8%であった。

表3-12-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	40.4	51.9	49.9	53.9	37.6	44.1	40.8	47.4	39.8	50.1	48.4	51.8
拠点病院等	40.6	52.0	50.0	54.1	37.6	44.1	40.7	47.5	39.9	50.2	48.4	51.9
都道府県推薦病院	34.0	45.2	31.7	58.7	-	-			34.7	45.0	33.1	56.9
年齢												
0-39歳	74.2	74.8	59.6	90.1	-	-			75.2	75.7	62.5	89.0
40歳代	85.8	87.5	80.7	94.2	-	-			81.6	83.1	76.5	89.7
50歳代	72.7	76.9	72.6	81.2	65.1	66.6	56.9	76.2	71.4	75.2	71.2	79.1
60歳代	56.8	64.3	61.2	67.3	60.1	63.2	57.4	69.0	57.4	64.1	61.4	66.8
70歳代	37.7	51.2	48.1	54.3	41.5	47.7	42.8	52.7	38.6	50.4	47.8	53.1
80歳以上	12.8	28.7	24.4	33.0	16.0	25.5	19.9	31.2	13.7	27.7	24.3	31.2
UICC TNM 分類総合ステージ												
I期	50.7	65.0	62.3	67.8	54.4	63.8	58.6	69.0	51.5	64.8	62.3	67.2
II期	35.9	46.4	41.8	51.0	29.2	34.7	27.6	41.7	34.2	43.4	39.6	47.3
III期	22.9	29.2	23.9	34.5	24.5	27.9	20.0	35.7	23.4	28.9	24.4	33.4
IV期	11.8	14.8	11.2	18.3	8.8	10.0	5.8	14.2	10.9	13.3	10.5	16.2
不詳	30.6	40.3	30.2	50.4	18.8	22.4	10.8	34.0	27.3	35.2	27.2	43.2
観血的治療												
有	44.6	57.1	54.9	59.3	43.8	51.2	47.4	55.0	44.4	55.8	53.9	57.7
原発巣・治癒切除	48.8	62.4	59.9	65.0	49.9	58.6	54.1	63.1	49.0	61.6	59.4	63.8
原発巣・非治癒切除	27.1	34.6	29.5	39.7	18.1	20.9	13.8	28.1	24.9	31.2	26.9	35.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	35.6	45.2	38.7	51.8	38.6	43.4	31.2	55.6	36.3	44.8	39.0	50.6
無	11.0	15.2	11.4	19.0	9.2	11.3	6.6	16.0	10.4	14.1	11.0	17.1

13. 喉頭がん(喉頭癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	242	2,946	1,494	96.9	69.7
I 期	242	1,182	464	96.7	69.5
II 期	214	744	350	96.9	69.7
III 期	162	401	232	96.5	70.2
IV 期	185	589	430	97.5	69.7

(1) 生存状況把握割合

集計対象 2,946 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 1,494 例、打ち切りが 91 例で、全体として生存状況把握割合は 96.9%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-13-1 に示す。性別で見ると、男性が約 93%を占めた。診断時の年齢分布をみると、70 歳代・60 歳代で約 7 割を占めた。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が約 40%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 31%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 12%であった。

表 3-13-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	2,746	100.0	200	100.0	2,946	100.0
拠点病院等	2,687	97.9	197	98.5	2,884	97.9
都道府県推薦病院	59	2.1	(1-3)		62	2.1
年齢						
平均年齢 (SD)	69.8(9.3)		69.3(11.5)		69.7(9.4)	
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	(4-6)		(1-3)		(7-9)	
40 歳代	31	1.1	(7-9)		40	1.4
50 歳代	318	11.6	21	10.5	339	11.5
60 歳代	1,015	37.0	72	36.0	1,087	36.9
70 歳代	935	34.0	56	28.0	991	33.6
80 歳以上	443	16.1	39	19.5	482	16.4
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	1,113	40.5	69	34.5	1,182	40.1
II 期	705	25.7	39	19.5	744	25.3
III 期	360	13.1	41	20.5	401	13.6
IV 期	539	19.6	50	25.0	589	20.0
不詳	29	1.1	(1-3)		30	1.0
観血的治療						
有	839	30.6	71	35.5	919	31.2
原発巣・治癒切除	674	24.5	65	32.5	739	25.1
原発巣・非治癒切除	87	3.2	(7-9)		96	3.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	78	2.8	6	3.0	84	2.9
無	1,907	69.4	120	60.0	2,027	68.8
発見経緯						
がん検診	12	0.4	(1-3)		14	0.5
健康診断・人間ドック	13	0.5	0	0.0	13	0.4
他疾患経過観察中	335	12.2	20	10.0	355	12.1
その他・不明	2,836	103.3	178	89.0	2,564	87.0

(3)10 年生存率

10 年生存率を表 3-13-2 に示す。実測生存率は 48.4%、ネット・サバイバルは、全体で 58.8%であった。70 歳以上では、実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期が 73.2%、II 期が 63.5%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは 60%で、そのうち原発巣・治癒切除例では 60.4%であった。

表 3-13-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	47.8	58.5	55.7	61.2	57.1	63.5	54.5	72.5	48.4	58.8	56.1	61.5
拠点病院等	47.8	58.5	55.6	61.3	57.8	64.2	55.4	73.0	48.5	58.9	56.2	61.5
都道府県推薦病院	47.4	58.0	39.4	76.7	-	-	-	-	45.8	56.8	37.8	75.8
年齢												
0-39 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40 歳代	85.0	86.5	73.0	100.0	-	-	-	-	82.2	83.5	70.6	96.4
50 歳代	74.4	78.6	73.3	83.9	-	-	-	-	74.6	78.7	73.5	83.8
60 歳代	60.5	68.4	64.8	72.0	72.0	75.7	64.6	86.8	61.3	68.9	65.5	72.8
70 歳代	38.9	52.0	47.5	56.6	53.4	62.3	46.0	78.5	39.7	52.6	48.2	57.0
80 歳以上	14.3	31.0	22.9	39.1	-	-	-	-	14.3	30.6	23.0	38.3
UICC TNM 分類総合ステージ												
I 期	58.7	72.6	68.1	77.1	72.6	83.0	67.7	98.2	59.5	73.2	68.9	77.5
II 期	52.3	63.7	58.1	69.3	55.9	60.4	41.2	79.7	52.5	63.5	58.1	68.9
III 期	41.3	50.0	42.8	57.2	52.6	59.1	39.6	78.7	42.4	50.9	44.1	57.6
IV 期	24.8	29.2	24.2	34.2	41.6	44.3	28.8	59.8	26.2	30.4	25.6	35.3
不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
観血的治療												
有	48.1	58.9	54.0	63.8	62.9	71.9	58.2	85.7	49.3	60.0	55.3	64.6
原発巣・治癒切除	48.4	59.7	54.2	65.3	57.7	67.6	51.7	83.5	49.2	60.4	55.1	65.6
原発巣・非治癒切除	47.4	55.7	41.5	69.8	-	-	-	-	51.2	59.1	45.8	72.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	45.9	55.5	40.3	70.7	-	-	-	-	48.2	57.5	43.0	72.1
無	47.7	58.2	54.9	61.6	53.6	58.4	46.8	70.0	48.1	58.3	55.0	61.5

14. 胆嚢がん(胆嚢癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	287	2,521	2,040	97.7	73.5
I 期	254	668	305	97.2	72.7
II 期	236	509	434	97.8	75.0
III 期	143	217	208	98.2	72.2
IV 期	287	1,047	1,020	98.0	73.4

(1) 生存状況把握割合

集計対象 2,521 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 2,040 例、打ち切りが 58 例で、全体として生存状況把握割合は 97.7%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-14-1 に示す。性別をみると、女性が 57.5%を占めた。年齢をみると、70 歳代が最も多く 35.7%、次いで 80 歳以上が 31.5%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、IV 期が最も多く 41.5%を占めた。観血的治療は 44.5%で実施されていた。

表 3-14-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,071	100.0	1,450	100.0	2,521	100.0
拠点病院等	1,019	95.1	1,372	94.6	2,391	94.8
都道府県推薦病院	52	4.9	78	5.4	130	5.2
年齢						
平均年齢 (SD)	72.8(10.4)		74.0(11.2)		73.5(10.9)	
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	(7-9)		(1-3)		10	0.4
40 歳代	21	2.0	31	2.1	52	2.1
50 歳代	76	7.1	137	9.4	213	8.4
60 歳代	259	24.2	294	20.3	553	21.9
70 歳代	409	38.2	491	33.9	900	35.7
80 歳以上	299	27.9	494	34.1	793	31.5
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	301	28.1	367	25.3	668	26.5
II 期	224	20.9	285	19.7	509	20.2
III 期	91	8.5	126	8.7	217	8.6
IV 期	414	38.7	633	43.7	1,047	41.5
不詳	41	3.8	39	2.7	80	3.2
観血的治療						
有	499	46.6	623	43.0	1,122	44.5
原発巣・治癒切除	426	39.8	524	36.1	950	37.7
原発巣・非治癒切除	64	6.0	80	5.5	144	5.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	9	0.8	19	1.3	28	1.1
無	572	53.4	827	57.0	1,399	55.5
発見経緯						
がん検診	13	1.2	(4-6)		18	0.7
健康診断・人間ドック	50	4.7	43	3.0	93	3.7
他疾患経過観察中	414	38.7	479	33.0	893	35.4
その他・不明	594	55.5	923	63.7	1,517	60.2

(3)10年生存率

10年生存率を表3-14-2に示す。ネット・サバイバルは、全体で21.6%であった。80歳以上では、実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、I期が66.4%、II期が15.4%であった。観血的治療有の者のネット・サバイバルは47.2%であった。

表3-14-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	16.7	22.0	18.6	25.4	18.5	21.2	18.6	23.8	17.7	21.6	19.5	23.7
拠点病院等	16.2	21.4	18.0	24.8	18.7	21.4	18.8	24.1	17.6	21.5	19.3	23.6
都道府県推薦病院	27.1	32.9	16.5	49.4	14.5	15.7	6.3	25.1	19.7	22.7	13.8	31.7
年齢												
0-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	-	-			-	-			-	-		
50歳代	31.4	32.6	21.5	43.8	27.8	28.3	20.3	36.3	29.1	29.9	23.4	36.5
60歳代	22.6	25.6	19.7	31.5	25.5	26.9	21.4	32.5	24.1	26.3	22.2	30.3
70歳代	15.7	21.0	16.0	26.0	22.3	25.7	21.2	30.2	19.2	23.5	20.2	26.9
80歳以上	7.4	15.9	9.1	22.7	6.6	9.9	6.0	13.8	6.9	12.4	8.7	16.0
UICC TNM 分類総合ステージ												
I期	49.9	66.1	57.0	75.1	57.5	66.3	59.1	73.4	54.1	66.4	60.7	72.1
II期	10.1	13.0	7.4	18.7	15.6	17.5	12.3	22.6	13.0	15.4	11.5	19.4
III期	1.2	1.7	0.0	4.3	3.5	3.9	0.4	7.5	2.5	3.0	0.5	5.5
IV期	0.8	1.0	0.0	2.1	0.4	0.4	0.0	0.9	0.5	0.6	0.1	1.2
不詳	-	-			-	-			-	-		
観血的治療												
有	34.2	45.2	38.8	51.6	42.3	48.5	43.4	53.7	38.6	47.2	43.1	51.2
原発巣・治癒切除	39.2	51.9	44.8	59.1	47.3	54.1	48.4	59.8	43.6	53.3	48.8	57.8
原発巣・非治癒切除	-	-			9.7	11.2	2.9	19.6	6.2	7.1	2.0	12.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-			-	-			-	-		
無	1.2	1.4	0.2	2.5	0.3	0.3	0.0	0.7	0.6	0.8	0.2	1.3

15. 腎がん(腎癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	292	6,727	2,794	96.8	65.5
I 期	292	4,402	1,195	96.2	64.8
II 期	195	436	159	97.7	63.4
III 期	223	694	360	97.7	67.7
IV 期	271	1,093	1,009	98.3	67.6

(1) 生存状況把握割合

集計対象 6,727 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 2,794 例、打ち切りが 215 例で、全体として生存状況把握割合は 96.8%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-15-1 に示す。性別をみると、男性が 70.8%を占めた。診断時の年齢分布をみると、60 歳代・70 歳代が約 31%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が約 65%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 83%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 48%であった。

表 3-15-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	4,763	100.0	1,964	100.0	6,727	100.0
拠点病院等	4,675	98.2	1,929	98.2	6,604	98.2
都道府県推薦病院	88	1.8	35	1.8	123	1.8
年齢						
平均年齢 (SD)	65.0(11.9)		66.8(12.4)		65.5(12.1)	
0-14 歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
15-39 歳	130	2.7	61	3.1	191	2.8
40 歳代	379	8.0	122	6.2	501	7.4
50 歳代	910	19.1	304	15.5	1,214	18.0
60 歳代	1,488	31.2	565	28.8	2,053	30.5
70 歳代	1,407	29.5	648	33.0	2,055	30.5
80 歳以上	448	9.4	263	13.4	711	10.6
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	3,124	65.6	1,278	65.1	4,402	65.4
II 期	276	5.8	160	8.1	436	6.5
III 期	499	10.5	195	9.9	694	10.3
IV 期	793	16.6	300	15.3	1,093	16.2
不詳	71	1.5	31	1.6	102	1.5
観血的治療						
有	3,942	82.8	1,617	82.3	5,559	82.6
原発巣・治癒切除	3,663	76.9	1,518	77.3	5,181	77.0
原発巣・非治癒切除	144	3.0	45	2.3	189	2.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	135	2.8	54	2.7	189	2.8
無	821	17.2	347	17.7	1,168	17.4
発見経緯						
がん検診	78	1.6	33	1.7	111	1.7
健康診断・人間ドック	715	15.0	218	11.1	933	13.9
他疾患経過観察中	2,258	47.4	958	48.8	3,216	47.8
その他・不明	1,712	35.9	755	38.4	2,467	36.7

(3)10 年生存率

10 年生存率を表 3-15-2 に示す。ネット・サバイバルは、全体で 65.7%であった。70 歳以上では、実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、I 期が 82.4%、II 期が 70.8%であった。観血的治療有の者のネット・サバイバルは 77.1%でそのうち原発巣・治癒切除例では 80.1%であった。

表 3-15-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	55.5	64.7	62.8	66.6	62.2	68.1	65.5	70.7	57.5	65.7	64.2	67.3
拠点病院等	55.6	64.8	62.9	66.7	62.5	68.5	65.9	71.1	57.6	65.9	64.3	67.5
都道府県推薦病院	49.2	58.7	42.9	74.4	-	-			46.0	53.4	40.7	66.1
年齢												
0-39 歳	84.3	84.9	78.2	91.6	82.7	83.1	73.4	92.8	83.7	84.3	78.8	89.9
40 歳代	82.7	84.3	80.3	88.5	82.7	83.6	76.5	90.7	82.7	84.2	80.7	87.8
50 歳代	72.7	76.8	73.6	80.0	75.0	76.9	71.6	82.1	73.3	76.8	74.1	79.5
60 歳代	59.9	67.6	64.6	70.5	71.1	74.7	70.6	78.8	63.0	69.5	67.1	72.0
70 歳代	42.6	57.6	53.9	61.3	57.4	66.0	61.4	70.5	47.3	60.3	57.3	63.2
80 歳以上	15.6	30.5	23.1	37.9	25.5	37.8	29.1	46.5	19.2	33.3	27.5	39.1
UICC TNM 分類総合ステージ												
I 期	70.1	81.7	79.4	83.9	76.8	84.3	81.4	87.2	72.1	82.4	80.6	84.3
II 期	58.9	69.1	61.7	76.4	69.4	73.8	65.5	82.2	62.8	70.8	65.2	76.4
III 期	46.1	54.1	48.3	59.8	51.4	57.1	48.6	65.5	47.6	54.9	50.1	59.7
IV 期	5.9	6.7	4.7	8.7	8.2	8.8	5.3	12.3	6.5	7.3	5.5	9.0
不詳	29.4	36.4	21.6	51.2	20.1	22.7	5.0	40.4	26.7	32.3	20.5	44.1
観血的治療												
有	65.1	75.7	73.7	77.6	73.6	80.4	77.9	83.0	67.6	77.1	75.5	78.7
原発巣・治癒切除	68.0	79.0	77.0	81.1	75.5	82.5	79.9	85.1	70.2	80.1	78.4	81.7
原発巣・非治癒切除	11.6	13.4	7.0	19.8	22.5	24.2	10.7	37.6	14.2	16.0	10.0	21.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	42.6	49.1	38.7	59.6	59.6	66.4	51.0	81.7	47.4	54.0	45.2	62.8
無	8.3	10.9	7.9	14.0	8.3	9.9	5.9	14.0	8.3	10.6	8.2	13.0

16. 腎盂尿管がん(腎盂尿管癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	267	2,797	1,987	98.0	73.1
I 期	227	538	289	98.3	73.3
II 期	196	415	231	97.6	72.5
III 期	258	835	538	98.2	72.7
IV 期	267	893	831	97.9	73.0

(1) 生存状況把握割合

集計対象 2,797 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 1,987 例、打ち切りが 55 例で、全体として生存状況把握割合は 98.0%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-16-1 に示す。性別で見ると、男性が約 67%、女性が約 33%であった。診断時の年齢分布を見ると、70 歳代が最も多く約 39%、80 歳以上が約 27%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布を見ると、IV 期が約 32%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 69%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約 34%であった。

表 3-16-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,868	100.0	929	100.0	2,797	100.0
拠点病院等	1,833	98.1	906	97.5	2,739	97.9
都道府県推薦病院	35	1.9	23	2.5	58	2.1
年齢						
平均年齢 (SD)	72.3 (9.6)		74.6 (9.3)		73.1 (9.5)	
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	(4-6)		(1-3)		(7-9)	
40 歳代	25	1.3	(4-6)		29	1.0
50 歳代	146	7.8	47	5.1	193	6.9
60 歳代	511	27.4	202	21.7	713	25.5
70 歳代	714	38.2	374	40.3	1,088	38.9
80 歳以上	466	24.9	299	32.2	765	27.4
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	367	19.6	171	18.4	538	19.2
II 期	293	15.7	122	13.1	415	14.8
III 期	557	29.8	278	29.9	835	29.9
IV 期	573	30.7	320	34.4	893	31.9
不詳	78	4.2	38	4.1	116	4.1
観血的治療						
有	1,319	70.6	615	66.2	1,934	69.1
原発巣・治癒切除	1,132	60.6	518	55.8	1,650	59.0
原発巣・非治癒切除	108	5.8	60	6.5	168	6.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	79	4.2	37	4.0	116	4.1
無	549	29.4	314	33.8	863	30.9
発見経緯						
がん検診	(7-9)		(4-6)		12	0.4
健康診断・人間ドック	50	2.7	16	1.7	66	2.4
他疾患経過観察中	645	34.5	316	34.0	961	34.4
その他・不明	1,166	62.4	592	63.7	1,758	62.9

(3)10年生存率

10年生存率を表3-16-2に示す。ネット・サバイバルは、全体で33.9%であった。70歳以上では、実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に全体のネット・サバイバルをみると、Ⅰ期が56.6%、Ⅱ期が52.6%、Ⅲ期が42.1%、Ⅳ期が5.6%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは、47.1%で、そのうち原発巣・治癒切除例では51%であった。

表3-16-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	26.8	33.9	31.0	36.7	29.4	33.9	29.9	37.9	27.7	33.9	31.6	36.2
拠点病院等	26.9	34.0	31.1	37.0	29.8	34.3	30.3	38.4	27.8	34.2	31.8	36.6
都道府県推薦病院	-	-			-	-			18.0	20.1	7.0	33.2
年齢												
0-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	-	-			-	-			-	-		
50歳代	50.1	52.5	43.7	61.3	47.8	49.0	34.5	63.6	49.5	51.9	44.3	59.5
60歳代	38.3	43.4	38.5	48.3	42.9	45.0	37.6	52.4	39.6	43.9	39.8	48.0
70歳代	24.7	34.1	29.5	38.6	31.6	36.4	30.7	42.0	27.1	34.9	31.3	38.5
80歳以上	7.8	15.2	10.0	20.3	13.5	19.7	12.4	27.0	10.0	17.0	12.7	21.3
UICC TNM 分類総合ステージ												
Ⅰ期	43.6	56.2	48.4	63.9	49.0	57.3	46.4	68.2	45.3	56.6	50.2	63.0
Ⅱ期	41.3	51.4	43.5	59.3	48.5	55.2	44.4	66.1	43.4	52.6	46.1	59.0
Ⅲ期	32.2	40.3	34.8	45.8	39.5	45.6	38.2	53.0	34.7	42.1	37.6	46.5
Ⅳ期	4.9	5.8	3.6	8.0	4.8	5.2	2.4	8.1	4.8	5.6	3.8	7.4
不詳	16.2	21.8	9.3	34.3	11.4	13.2	0.0	30.4	14.7	18.9	7.7	30.1
観血的治療												
有	36.7	46.3	42.5	50.0	42.2	48.6	43.5	53.8	38.4	47.1	41.0	50.1
原発巣・治癒切除	39.6	49.8	45.7	53.9	46.4	53.5	47.7	59.2	41.7	51.0	47.7	54.4
原発巣・非治癒切除	11.7	16.2	8.0	24.4	12.7	14.6	4.8	24.5	12.0	15.7	9.3	22.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	29.7	36.4	22.5	50.3	30.3	33.6	16.2	51.1	29.9	35.6	24.5	46.7
無	3.3	4.5	2.2	6.8	4.5	5.0	1.2	8.9	3.7	4.7	2.6	6.8

17. 甲状腺がん(甲状腺癌)

甲状腺乳頭濾胞がん(甲状腺乳頭濾胞癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	283	5,588	820	94.9	57.6
I期	283	2,217	174	93.0	50.2
II期	160	328	39	94.8	60.0
III期	271	1,713	191	96.1	61.3
IV期	255	1,263	390	96.6	64.5

(1) 生存状況把握割合

集計対象 5,588 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 820 例、打ち切りが 286 例で、全体として生存状況把握割合は 94.9%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-17①-1 に示す。性別をみると、女性が 74.6%を占めた。年齢をみると、60 歳代が最も多く 27.8%、次いで 50 歳代が 20.7%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 39.7%を占めた。観血的治療は 92.2%で実施されていた。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が 37.8%であった。

表 3-17①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,418	100.0	4,170	100.0	5,588	100.0
拠点病院等	1,383	97.5	4,010	96.2	5,393	96.5
都道府県推薦病院	35	2.5	160	3.8	195	3.5
年齢						
平均年齢 (SD)	58.2 (14.8)		57.4 (15.3)		57.6 (15.2)	
0-14 歳	(1-3)		(4-6)		(7-9)	
15-39 歳	174	12.3	607	14.6	781	14.0
40 歳代	207	14.6	597	14.3	804	14.4
50 歳代	288	20.3	867	20.8	1,155	20.7
60 歳代	409	28.8	1,142	27.4	1,551	27.8
70 歳代	264	18.6	719	17.2	983	17.6
80 歳以上	73	5.1	232	5.6	305	5.5
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	506	35.7	1,711	41.0	2,217	39.7
II 期	86	6.1	242	5.8	328	5.9
III 期	388	27.4	1,325	31.8	1,713	30.7
IV 期	418	29.5	845	20.3	1,263	22.6
不詳	20	1.4	47	1.1	67	1.2
観血的治療						
有	1,294	91.3	3,858	92.5	5,152	92.2
原発巣・治癒切除	1,137	80.2	3,492	83.7	4,629	82.8
原発巣・非治癒切除	91	6.4	212	5.1	303	5.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	66	4.7	154	3.7	220	3.9
無	124	8.7	312	7.5	436	7.8
発見経緯						
がん検診	23	1.6	212	5.1	235	4.2
健康診断・人間ドック	294	20.7	631	15.1	925	16.6
他疾患経過観察中	534	37.7	1,577	37.8	2,111	37.8
その他・不明	567	40.0	1,750	42.0	2,317	41.5

(3)10 年生存率

10 年生存率を表 3-17①-2 に示す。ネット・サバイバルは、全体で 91%であった。年代別にみたネット・サバイバルは、70 歳以上を除き約 90%以上であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期が 96.4%、II 期が 97.1%、III 期が 96%、IV 期が 74.6%であった。観血的治療有の者のネット・サバイバルは 94%であった。

表 3-17①-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	78.9	87.6	84.7	90.6	87.4	92.1	90.8	93.3	85.2	91.0	89.8	92.1
拠点病院等	78.9	87.8	84.9	90.7	87.3	91.9	90.7	93.2	85.2	90.9	89.7	92.1
都道府県推薦病院	-	-			90.0	94.2	88.3	100.0	87.6	92.1	85.2	99.0
年齢												
0-39 歳	99.3	100.0	98.7	100.0	99.0	99.4	98.5	100.0	99.0	99.6	98.8	100.0
40 歳代	94.5	96.3	92.9	99.7	97.5	98.5	97.1	99.9	96.7	98.0	96.6	99.3
50 歳代	90.0	94.8	90.8	98.8	94.9	97.2	95.6	98.8	93.7	96.6	95.1	98.2
60 歳代	79.4	88.9	84.2	93.7	88.9	93.3	91.3	95.4	86.4	92.2	90.3	94.2
70 歳代	54.5	72.7	63.8	81.6	72.7	82.8	78.7	86.8	67.9	80.1	76.2	83.9
80 歳以上	22.0	40.0	19.5	60.6	39.4	58.5	47.9	69.1	35.6	55.9	45.9	65.8
UICC TNM 分類総合ステージ												
I 期	87.8	94.3	90.3	98.3	93.7	97.0	95.7	98.4	92.3	96.4	95.0	97.9
II 期	84.1	98.9	88.6	100.0	90.1	96.3	90.9	100.0	88.4	97.1	92.2	100.0
III 期	86.7	97.7	93.0	100.0	89.8	95.7	93.5	97.6	89.1	96.0	94.2	97.9
IV 期	62.0	70.2	63.8	76.6	71.7	76.7	73.0	80.3	68.6	74.6	71.3	77.8
不詳	-	-			68.1	75.4	59.2	91.7	59.2	65.4	50.6	80.3
観血的治療												
有	82.9	91.7	89.0	94.5	90.0	94.7	93.6	95.9	88.3	94.0	92.9	95.1
原発巣・治癒切除	86.0	95.4	92.7	98.0	90.8	95.4	94.3	96.6	89.6	95.4	94.3	96.5
原発巣・非治癒切除	54.4	58.5	45.3	71.8	76.2	80.6	73.7	87.6	69.6	74.0	67.4	80.5
原発巣・治癒/非治癒 の別不詳	70.4	76.5	62.7	90.2	92.7	97.6	93.0	100.0	86.3	91.5	86.1	97.0
無	35.0	43.7	30.0	57.3	54.8	59.7	52.6	66.8	49.4	55.3	48.8	61.8

甲状腺未分化がん(甲状腺未分化癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	76	104	94	98.1	74.1
I 期	(1-3)	(1-3)	0	100.0	55.0
IV 期	76	100	91	98.0	74.3

(1) 生存状況把握割合

集計対象 104 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 94 例で、全体として生存状況把握割合は 98.1%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-17②-1 に示す。性別をみると、男性が 34.6%、女性が 65.4%であった。年齢をみると、80 歳以上が最も多く 41.3%、次いで 70 歳代が 27.9%であった。観血的治療は甲状腺乳頭濾胞癌と比較して低く、38.5%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 13%であった。

表 3-17②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	36	100.0	68	100.0	104	100.0
拠点病院等	35	97.2	66	97.1	101	97.1
都道府県推薦病院	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
年齢						
平均年齢 (SD)	71.4 (11.6)		75.5 (11.1)		74.1 (11.4)	
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
40 歳代	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
50 歳代	(7-9)		(7-9)		14	13.5
60 歳代	(4-6)		12	17.6	16	15.4
70 歳代	13	36.1	16	23.5	29	27.9
80 歳以上	11	30.6	32	47.1	43	41.3
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	0	0.0	(1-3)		(1-3)	
IV 期	34	94.4	66	97.1	100	96.2
不詳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
観血的治療						
有	0	0.0	28	41.2	40	38.5
原発巣・治癒切除	(7-9)		13	19.1	21	20.2
原発巣・非治癒切除	(4-6)		15	22.1	19	18.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
無	23	63.9	38	55.9	61	58.7
発見経緯						
がん検診	0	0.0	(1-3)		(1-3)	
健康診断・人間ドック	0	0.0	0	0.0	0	0.0
他疾患経過観察中	(1-3)		10	14.7	13	12.5
その他・不明	33	91.7	57	83.8	90	86.5

(3)10年生存率

10年生存率を表3-17②-2に示す。実測生存率、ネット・サバイバルともに10%未満であった。対象数が限られるため生存率値の解釈には留意が必要である。

表3-17②-2 属性別10年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間
全体	5.6	5.8	0.0 12.6	9.2	9.8	1.8 17.7	7.9	8.4	2.5 14.4
拠点病院等	5.7	6.0	0.0 12.9	9.5	10.1	1.9 18.3	8.2	8.7	2.6 14.8
都道府県推薦病院	-	-		-	-		-	-	
UICC TNM分類総合ステージ									
IV期	5.9	6.1	0.0 13.3	7.9	8.5	0.9 16.1	7.2	7.7	1.9 13.6
不詳	-	-		-	-		-	-	
観血的治療									
有	15.4	16.1	0.0 34.2	21.4	22.6	6.0 39.3	19.5	20.7	7.4 34.1
原発巣・治癒切除	-	-		-	-		-	-	
原発巣・非治癒切除	-	-		-	-		-	-	
原発巣・治癒/非治癒 の別不詳	-	-		-	-		-	-	
無	-	-		-	-		-	-	

甲状腺髄様がん(甲状腺髄様癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	22	35	(1-3)	97.1	57.1
I 期	11	11	0	100.0	53.0
II 期	(4-6)	(4-6)	(1-3)	83.3	65.0
III 期	(4-6)	(4-6)	0	100.0	57.8
IV 期	12	14	(1-3)	100.0	56.6

(1) 生存状況把握割合

集計対象 35 例であった。
集計対象全体で生存状況把握割合は、97.1%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-17③-1 に示す。対象数が限られるため全体でのみ示す。男性が 51%、女性が 49%であった。診断時の平均年齢は 57.1 歳であった。観血的治療を受けた者が 35 名であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が 21 名であった。

表 3-17③-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	35	100.0
拠点病院等	33	94.3
都道府県推薦病院	2	5.7
年齢		
平均年齢 (SD)	57.1 (15.3)	
0-14 歳	0	0.0
15-39 歳	(4-6)	
40 歳代	(4-6)	
50 歳代	10	28.6
60 歳代	(4-6)	
70 歳代	(7-9)	
80 歳以上	(1-3)	
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	11	31.4
II 期	(4-6)	
III 期	(4-6)	
IV 期	14	40.0
不詳	0	0.0
観血的治療		
有	35	100.0
原発巣・治癒切除	32	91.4
原発巣・非治癒切除	(1-3)	
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	0	0.0
無	(1-3)	
発見経緯		0.0
がん検診	(1-3)	
健康診断・人間ドック	(4-6)	
他疾患経過観察中	21	60.0
その他・不明	(7-9)	

18. 女性卵巣がん(女性卵巣癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2010	268	4,501	2,204	96.4	57.2
I 期	268	1,811	337	94.0	53.4
II 期	175	384	165	97.4	57.9
III 期	257	1,378	978	98.3	59.4
IV 期	240	761	617	97.6	61.4

(1) 生存状況把握割合

集計対象 4,501 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 2,204 例、打ち切りが 161 例で、全体として生存状況把握割合は 96.4%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-18-1 に示す。診断時の年齢分布をみると、50 歳代・60 歳代が約 26%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 40.2%を占めた。観血的治療は 83.8%で実施されていた。

表 3-18-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	4,501	100.0
拠点病院等	4,373	97.2
都道府県推薦病院	128	2.8
年齢		
平均年齢 (SD)	57.2 (14.5)	
0-14 歳	17	0.4
15-39 歳	480	10.7
40 歳代	777	17.3
50 歳代	1,156	25.7
60 歳代	1,176	26.1
70 歳代	638	14.2
80 歳以上	257	5.7
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	1,811	40.2
II 期	384	8.5
III 期	1,378	30.6
IV 期	761	16.9
不詳	167	3.7
観血的治療		
有	3,773	83.8
原発巣・治癒切除	2,595	57.7
原発巣・非治癒切除	774	17.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	404	9.0
無	728	16.2
発見経緯		
がん検診	183	4.1
健康診断・人間ドック	174	3.9
他疾患経過観察中	794	17.6
その他・不明	3,350	74.4

(3)10年生存率

10年生存率を表3-18-2に示す。ネット・サバイバルは、全体で51.9%であった。実測生存率とネット・サバイバルの差は他のがんと比較して大きくはなかった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体でⅠ期が83.8%、Ⅱ期が58.2%、Ⅲ期が29.4%、Ⅳ期が18.5%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは60.3%で、そのうち原発巣・治癒切除例では69.5%であった。

表3-18-2 属性別10年生存率

	実測	全体 Net	95%信頼区間	
全体	49.9	51.9	50.2	53.5
拠点病院等	50.1	52.1	50.4	53.7
都道府県推薦病院	42.3	44.2	34.1	54.4
年齢				
0-39歳	76.8	77.1	73.0	81.2
40歳代	57.0	57.6	53.9	61.4
50歳代	54.9	56.2	53.1	59.3
60歳代	48.1	50.5	47.3	53.6
70歳代	30.3	34.3	30.0	38.7
80歳以上	12.3	18.2	11.5	24.9
UICC TNM 分類総合ステージ				
Ⅰ期	80.7	83.8	81.6	86.0
Ⅱ期	55.8	58.2	52.7	63.7
Ⅲ期	28.2	29.4	26.8	32.1
Ⅳ期	17.8	18.5	15.5	21.6
不詳	36.4	37.9	29.9	45.9
観血的治療				
有	58.0	60.3	58.5	62.1
原発巣・治癒切除	66.8	69.5	67.4	71.6
原発巣・非治癒切除	27.3	28.2	24.7	31.7
原発巣・治癒/非治癒 の別不詳	58.9	61.3	56.0	66.7
無	8.4	8.8	6.5	11.0

付表一覧

1. 集計対象施設一覧

付表 1 集計対象施設一覧

都道府県	施設名称
北海道	独立行政法人 国立病院機構 北海道がんセンター
北海道	JA 北海道厚生連 旭川厚生病院
北海道	王子総合病院
北海道	JA 北海道厚生連 帯広厚生病院
北海道	北見赤十字病院
北海道	函館厚生院 函館五稜郭病院
青森	八戸市立市民病院
岩手	岩手県立中央病院
岩手	県立二戸病院
岩手	岩手医科大学附属病院
岩手	岩手県立磐井病院
岩手	岩手県立宮古病院
岩手	岩手県立胆沢病院
岩手	岩手県立大船渡病院
岩手	岩手県立久慈病院
岩手	岩手県立釜石病院
宮城	東北大学病院
宮城	宮城県立がんセンター
宮城	石巻赤十字病院
宮城	大崎市民病院
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構東北労災病院
秋田	秋田大学医学部附属病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 平鹿総合病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療センター
秋田	秋田赤十字病院
秋田	大館市立総合病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田厚生医療センター
秋田	中通総合病院
山形	山形県立中央病院
山形	山形大学医学部附属病院
山形	山形市立病院済生館
山形	置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院
山形	日本海総合病院
福島	労働者健康安全機構福島労災病院
福島	福島県立医科大学附属病院
福島	太田西ノ内病院
福島	一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院
福島	総合南東北病院
福島	会津中央病院
福島	福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院
茨城	茨城県立中央病院
茨城	筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター
茨城	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院・茨城県地域がんセンター
茨城	株式会社日立製作所 日立総合病院・茨城県地域がんセンター
茨城	東京医科大学茨城医療センター
茨城	友愛記念病院
茨城	茨城西南医療センター病院
茨城	国立大学法人 筑波大学附属病院

都道府県	施設名称
茨城	国立病院機構水戸医療センター
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンター
栃木	自治医科大学附属病院
栃木	栃木県済生会宇都宮病院
栃木	獨協医科大学病院
栃木	那須赤十字病院
群馬	群馬県立がんセンター
群馬	群馬大学医学部附属病院
群馬	独立行政法人国立病院機構渋川医療センター
群馬	前橋赤十字病院
群馬	独立行政法人地域医療機能推進機構 群馬中央病院
群馬	群馬県済生会前橋病院
群馬	原町赤十字病院
埼玉	埼玉県立がんセンター
埼玉	深谷赤十字病院
埼玉	春日部市立医療センター
埼玉	さいたま市立病院
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター
埼玉	川口市立医療センター
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター
埼玉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口
千葉	国保旭中央病院
千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
千葉	国保直営総合病院 君津中央病院
千葉	千葉県がんセンター
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構千葉労災病院
千葉	船橋市立医療センター
千葉	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター
千葉	東京歯科大学市川総合病院
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院
千葉	松戸市立総合医療センター
千葉	日本医科大学千葉北総病院
東京	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院
東京	東京都立駒込病院
東京	青梅市立総合病院
東京	NTT 東日本関東病院
東京	日本赤十字社医療センター
東京	日本大学医学部附属板橋病院
東京	武蔵野赤十字病院
東京	がん研有明病院
東京	国立大学法人 東京大学医学部附属病院
東京	日本医科大学付属病院
東京	聖路加国際病院
東京	帝京大学医学部附属病院
東京	杏林大学医学部付属病院
東京	順天堂大学医学部附属順天堂医院
東京	昭和大学病院

都道府県	施設名称
東京	慶應義塾大学病院
東京	東京都立多摩総合医療センター
東京	公立昭和病院
東京	東京都立墨東病院
神奈川	神奈川県立がんセンター
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
神奈川	横浜州市市民病院
神奈川	小田原市立病院
神奈川	川崎市立井田病院
神奈川	聖マリアンナ医科大学病院
神奈川	東海大学医学部付属病院
神奈川	北里大学病院
神奈川	横浜労災病院
神奈川	国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院
神奈川	済生会横浜市南部病院
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院
新潟	新潟県立中央病院
新潟	長岡赤十字病院
新潟	新潟県厚生農業協同組合連合会長岡中央総合病院
新潟	県立新発田病院
新潟	労働者健康安全機構新潟労災病院
富山	富山県立中央病院
富山	黒部市民病院
富山	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
富山	国立大学法人 富山大学附属病院
富山	厚生連高岡病院
石川	国立大学法人金沢大学附属病院
石川	独立行政法人国立病院機構金沢医療センター
石川	石川県立中央病院
石川	金沢医科大学病院
石川	小松市民病院
石川	芳珠記念病院
福井	福井県立病院
福井	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院
福井	福井赤十字病院
福井	福井大学医学部附属病院
山梨	山梨県立中央病院
山梨	山梨大学医学部附属病院
山梨	市立甲府病院
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 佐久医療センター
長野	信州大学医学部附属病院
長野	諏訪赤十字病院
長野	飯田市立病院
長野	長野市民病院
長野	長野赤十字病院
長野	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院
長野	伊那中央病院
岐阜	岐阜市民病院
岐阜	高山赤十字病院

都道府県	施設名称
岐阜	岐阜県総合医療センター
岐阜	岐阜県立多治見病院
岐阜	大垣市民病院
静岡	静岡県立静岡がんセンター
静岡	静岡県立総合病院
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院
静岡	沼津市立病院
静岡	順天堂大学医学部附属静岡病院
静岡	静岡市立静岡病院
静岡	藤枝市立総合病院
静岡	浜松医科大学医学部附属病院
静岡	浜松医療センター
静岡	磐田市立総合病院
静岡	焼津市立総合病院
愛知	愛知県がんセンター
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院
愛知	海南病院
愛知	国立病院機構 名古屋医療センター
愛知	小牧市民病院
愛知	豊橋市民病院
愛知	一宮市立市民病院
愛知	公立陶生病院
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
愛知	藤田医科大学病院
三重	伊勢赤十字病院
三重	三重大学医学部附属病院
滋賀	市立長浜病院
滋賀	大津赤十字病院
滋賀	彦根市立病院
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院
滋賀	済生会滋賀県病院
京都	京都市立病院
京都	京都第一赤十字病院
京都	京都第二赤十字病院
京都	国立病院機構 京都医療センター
京都	市立福知山市民病院
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
大阪	市立岸和田市民病院
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療センター
大阪	市立豊中病院
大阪	大阪国際がんセンター
大阪	大阪市立総合医療センター
大阪	大阪赤十字病院
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院
大阪	大阪医科薬科大学病院

都道府県	施設名称
大阪	大阪公立大学医学部附属病院
大阪	国立病院機構大阪医療センター
大阪	パナソニック健康保険組合松下記念病院
大阪	ベルランド総合病院
大阪	八尾市立病院
兵庫	兵庫県立がんセンター
兵庫	神戸大学医学部附属病院
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院
兵庫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院
兵庫	公立学校共済組合近畿中央病院
兵庫	姫路赤十字病院
兵庫	赤穂市民病院
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院
兵庫	兵庫県立淡路医療センター
兵庫	兵庫医科大学病院
兵庫	兵庫県立丹波医療センター
奈良	奈良県立医科大学附属病院
奈良	奈良県総合医療センター
奈良	天理よろづ相談所病院
奈良	市立奈良病院
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院
鳥取	鳥取県立厚生病院
鳥取	独立行政法人国立病院機構米子医療センター
鳥取	鳥取県立中央病院
鳥取	鳥取市立病院
鳥取	鳥取大学医学部附属病院
島根	松江市立病院
島根	松江赤十字病院
島根	島根大学医学部附属病院
島根	島根県立中央病院
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター
岡山	岡山済生会総合病院
岡山	岡山赤十字病院
岡山	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
岡山	津山中央病院
岡山	岡山医療センター
岡山	川崎医科大学附属病院
広島	県立広島病院
広島	広島赤十字・原爆病院
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
広島	東広島医療センター
広島	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院
広島	福山市民病院
広島	公立学校共済組合 中国中央病院
山口	山口県立総合医療センター
山口	国立病院機構 岩国医療センター
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院

都道府県	施設名称
山口	山口大学医学部附属病院
山口	医療法人医誠会 都志見病院
徳島	徳島県立中央病院
徳島	徳島大学病院
徳島	徳島赤十字病院
香川	香川県立中央病院
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院
香川	高松赤十字病院
香川	国立大学法人 香川大学医学部附属病院
愛媛	市立宇和島病院
愛媛	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター
愛媛	住友別子病院
愛媛	愛媛大学医学部附属病院
愛媛	愛媛県立中央病院
愛媛	松山赤十字病院
愛媛	社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター
福岡	久留米大学病院
福岡	公立八女総合病院
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院
福岡	社会保険田川病院
福岡	飯塚病院
福岡	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター
福岡	北九州市立医療センター
福岡	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
福岡	九州大学病院
福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター
福岡	福岡県済生会福岡総合病院
福岡	福岡大学病院
福岡	聖マリア病院
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院
福岡	産業医科大学病院
福岡	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院
佐賀	地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館
佐賀	国立大学法人 佐賀大学医学部附属病院
佐賀	唐津赤十字病院
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター
長崎	日本赤十字社長崎原爆病院
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
長崎	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
長崎	国立大学法人 長崎大学病院
長崎	長崎県島原病院
長崎	社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院
熊本	熊本大学病院
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院
熊本	人吉医療センター
熊本	熊本赤十字病院
熊本	国立病院機構 熊本医療センター

都道府県	施設名称
熊本	荒尾市民病院
熊本	大腸肛門病センター高野病院
熊本	天草地域医療センター
大分	大分県立病院
大分	大分赤十字病院
大分	大分大学医学部附属病院
大分	大分県済生会日田病院
宮崎	宮崎県立宮崎病院
宮崎	国立病院機構 都城医療センター
鹿児島	鹿児島大学病院
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター
鹿児島	鹿児島県立薩南病院
鹿児島	独立行政法人国立病院機構南九州病院
鹿児島	県民健康プラザ鹿屋医療センター
鹿児島	鹿児島市立病院
鹿児島	公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院
鹿児島	出水郡医師会広域医療センター
鹿児島	鹿児島市医師会病院
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院
沖縄	沖縄県立中部病院
沖縄	琉球大学病院
沖縄	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院

関係者一覧

【監修】

東 尚弘 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター
石井 太祐 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

【解析・執筆・編集】

石井 太祐 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室
渡部 万里 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室
新藤 奈奈世 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

【データ収集】

塚田 庸一郎 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録室
近藤 誓哉 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録室

院内がん登録生存率集計の事務局

国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター院内がん登録分析室
担当：石井、渡部、新藤

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話：03-3547-5201(内線 1600)

メールアドレス：hbcr_analysis@ml.res.ncc.go.jp

院内がん登録 2010年10年生存率集計 報告書

2023年3月第1刷発行(非売品)

編集 東尚弘 石井太祐
発行 国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策研究所 がん登録センター
問い合わせ先: 院内がん登録分析室
〒104-0045 東京都中央区築地五丁目1番1号
電話 03-3542-2511